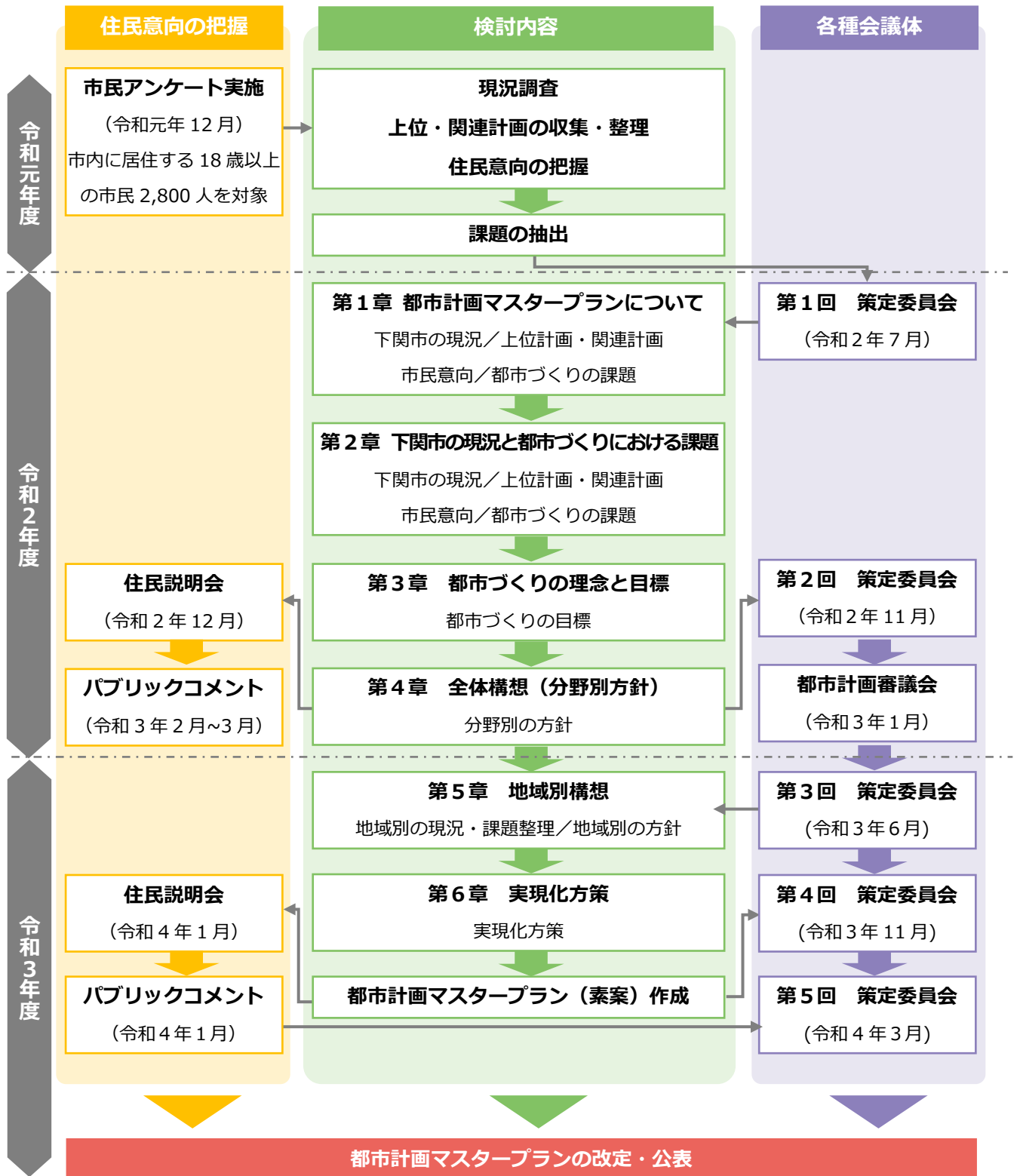


参考資料 1 計画の策定スケジュール

本市では、都市計画マスタープランの改定に向け、令和元年度（2019年度）から令和3年度（2021年度）にかけて検討を進めてきました。以下に、検討スケジュールを示します。

■ 策定スケジュール

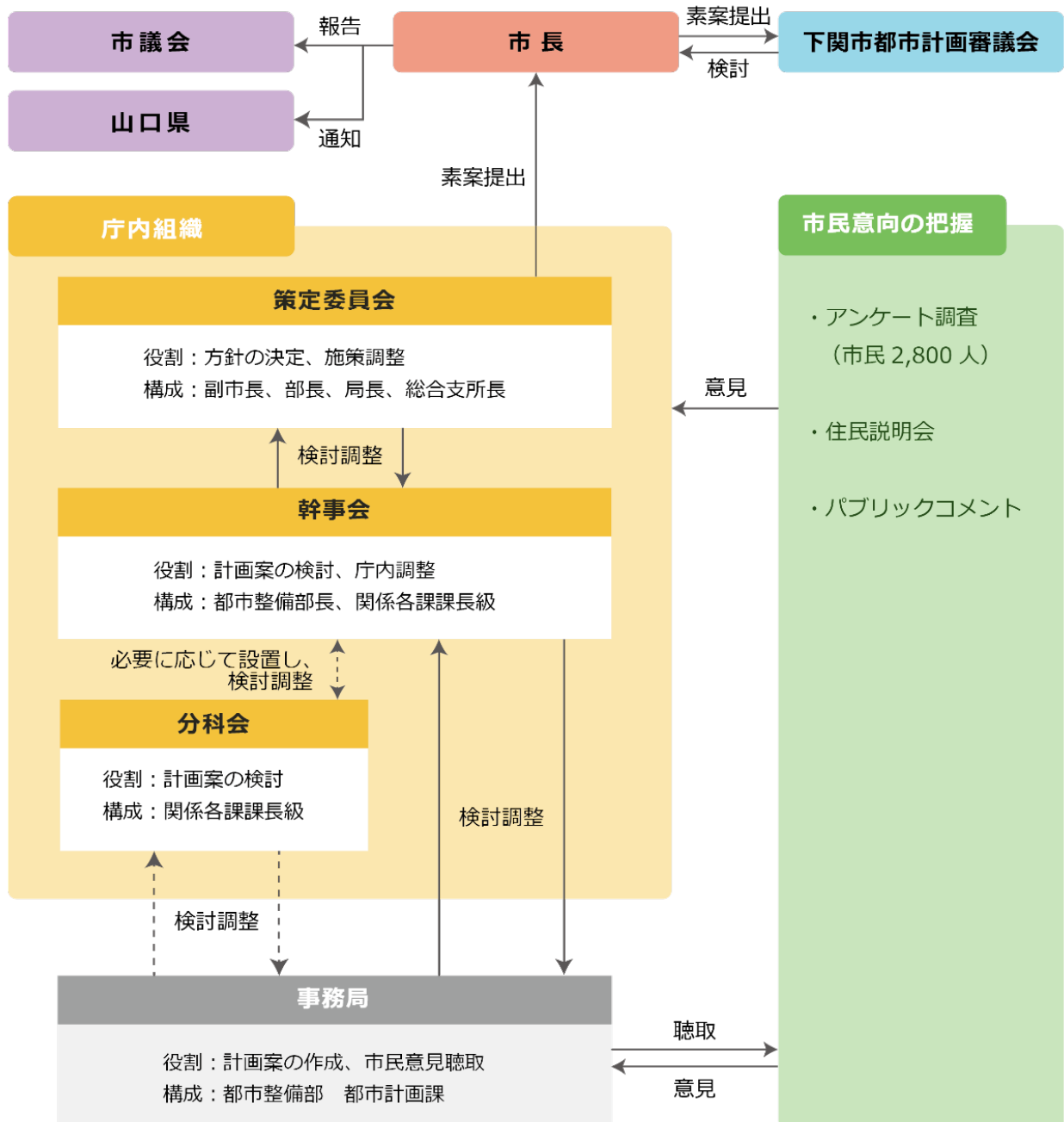


参考資料 2 計画の策定体制

都市計画マスタープランの策定にあたっては、副市長や部長級などで構成される「策定委員会」を設置し、総合的な観点から今後の下関市の都市像について検討してきました。また、策定委員会の下部組織として都市整備部長及び庁内関係各課課長級で構成される「幹事会」を設置し、庁内関係部局との調整を行い、横断的な体制で策定しました。

市民意向の反映については、広く意見を求めるため、18歳以上の市民2,800人（無作為抽出）を対象とするアンケート調査を実施するとともに、住民説明会の実施やパブリックコメントを実施し、計画に対する意見聴取を行ってきました。

■都市計画マスタープランの策定体制（再掲）



参考資料3 委員名簿

1. 都市計画マスタープラン策定委員会 名簿

		所属	役職
1	委員長	下関市	副市長
2	副委員長	下関市	副市長
3	委員	総合政策部	部長
4	委員	総務部	部長
5	委員	市民部	部長
6	委員	環境部	部長
7	委員	産業振興部	部長
8	委員	農林水産振興部	部長
9	委員	観光スポーツ文化部	部長
10	委員	建設部	部長
11	委員	都市整備部	部長
12	委員	港湾局	局長
13	委員	菊川総合支所	総合支所長
14	委員	豊田総合支所	総合支所長
15	委員	豊浦総合支所	総合支所長
16	委員	豊北総合支所	総合支所長
17	委員	消防局	局長
18	委員	上下水道局	局長

2. 都市計画マスタープラン幹事会 名簿

		所属	役職
1	幹事長	都市整備部	部長
2	幹事	都市整備部	理事
3	幹事	総合政策部 企画課	課長
4	幹事	総務部 防災危機管理課	課長
5	幹事	総務部 行政管理課	課長
6	幹事	市民部 まちづくり政策課	課長
7	幹事	市民部 生活安全課	課長
8	幹事	環境部 環境政策課	課長
9	幹事	産業振興部 産業振興課	課長
10	幹事	産業振興部 産業立地・就業支援課	課長
11	幹事	農林水産振興部 農業振興課	課長
12	幹事	農林水産振興部 水産振興課	課長
13	幹事	農林水産振興部 農林水産整備課	課長
14	幹事	農林水産振興部 市場流通課	課長
15	幹事	観光スポーツ文化部 観光政策課	課長
16	幹事	観光スポーツ文化部 観光施設課	課長
17	幹事	観光スポーツ文化部 スポーツ振興課	課長
18	幹事	建設部 道路河川建設課	課長
19	幹事	建設部 道路河川管理課	課長
20	幹事	建設部 住宅政策課	課長
21	幹事	都市整備部 都市計画課	課長
22	幹事	都市整備部 交通対策課	課長
23	幹事	都市整備部 市街地開発課	課長
24	幹事	都市整備部 公園緑地課	課長
25	幹事	都市整備部 建築指導課	課長
26	幹事	港湾局 経営課	課長
27	幹事	港湾局 振興課	課長
28	幹事	菊川総合支所 地域政策課	課長
29	幹事	菊川総合支所 建設農林課	課長
30	幹事	豊田総合支所 地域政策課	課長
31	幹事	豊田総合支所 建設農林課	課長
32	幹事	豊浦総合支所 地域政策課	課長
33	幹事	豊浦総合支所 建設農林水産課	課長
34	幹事	豊北総合支所 地域政策課	課長
35	幹事	豊北総合支所 建設農林水産課	課長
36	幹事	消防局 警防課	課長
37	幹事	消防局 予防課	課長
38	幹事	上下水道局 下水道整備課	課長

参考資料 4 住民意向の把握

1. 市民アンケート調査

下関市都市計画マスタープランの検討を行うにあたり、市民のまちづくりに対する意向を把握するため、以下のアンケート調査を実施しました。

■ 市民アンケート調査実施概要

項目	内容
調査時期	令和元年（2019年）12月12日(木)～12月27日(金)
調査対象	下関市に居住する18歳以上の市民 2,800人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
有効回収数（有効回収率）	1,016票（36.3%）

**下関市都市計画マスタープラン策定に係る
将来のまちづくりに関する
市民意識調査**

平素から、市政の推進につきましては、格別のご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、下関市では平成22年1月に「下関市都市計画マスタープラン」を策定し、これまで都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを進めてきました。しかし、策定からおよそ10年が経過し、人口減少、少子・高齢化などの社会経済情勢が大きく変化しています。

本市においても、人口減少、少子・高齢化が進行しており、そのような状況下においても、まちの活力を失わず、多様な世代が快適で魅力ある都市生活を身近なまちなかで送ることができるような、まちづくりのために「都市計画マスタープラン」の見直しを予定しています。

そこで、市内にお住まいの人（18歳以上）から**2,800人を無作為に抽出**してアンケート調査を実施することといたしました。調査は無記名で実施し、ご記入いただいた内容については、統計的な処理を行いますので、個人の方にご迷惑をおかけすることはありません。また、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

ご多忙中とは思いますが、本調査の趣旨をご理解いただき、お考えやご意見を記入していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年12月 下関市長 前田 晋太郎

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れて、**令和元年12月27日（金）**までに、**郵便ポスト**に投函してください（切手を貼る必要はありません）。

《調査票記入上の注意事項》

1. ご記入にあたっては、なるべく封筒のあて名のご本人がお書きください。
2. 各質問ともあてはまるものを選び、その番号を○印で囲んでください。
3. “その他”にあてはまる場合は、その番号を○印で囲み、（ ）内に“その他”の具体的な内容をご記入ください。

《調査実施機関・お問い合わせ先》

下関市 都市整備部 都市計画課 計画係
担当：山下・梅田
〒750-8521 下関市南都町1-1
電話番号：083-231-1932
E-mail：tstoshik@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

《調査委託機関》

株式会社オオバ九州支店 まちづくり部 計画設計課
担当：小宮・濱野・松田
〒810-0074 福岡県福岡市中央区大手門1-1-12
大手門バインビル
電話番号：092-714-7529

都市計画マスタープランとは？

おおむね20年後の将来都市像と、その実現に向けたまちづくりの方針を定めるもので、下関市の「まちづくり設計図」となるものです。今後は、このマスタープランに基づき、まちづくりを計画的に進めていきます。

都市計画とは？

住み良い良好なまちづくりを行うため、土地の利用や建物に対するルールを定め、道路や公園などといった、私たちの生活に欠かせない都市施設の配置計画を定めるものです。

【下関市地図(地区名入り)】

2. 住民説明会

下関市都市計画マスタープランの改定内容について、周知及び市民意見を広く聴取するため、住民説明会を開催しました。令和2年度（2020年度）は、全体構想について、令和3年度（2021年度）は、地域別構想を含む都市計画マスタープラン（素案）についての意見を聴取しています。

<令和2年度>

項目	内容
開催期間	令和2年（2020年）12月23日、24日
参加者数	9名（12月23日：6名、12月24日：3名）
会場	勝山公民館、菊川ふれあい会館



▲勝山公民館



▲菊川ふれあい会館



▲説明の様子

<令和3年度>

項目	内容
開催期間	令和4年（2022年）1月5日、6日
参加者数	5名（1月5日：4名、1月6日：1名）
会場	勝山公民館、菊川ふれあい会館



▲勝山公民館



▲菊川ふれあい会館



▲説明の様子

3. パブリックコメント

下関市都市計画マスタープランの改定内容について、周知及び市民意見を広く聴取するため、パブリックコメントを実施しました。令和2年度（2020年度）は、全体構想について、令和3年度（2021年度）は、地域別構想を含む都市計画マスタープラン（素案）についての意見を聴取しています。

<令和2年度>

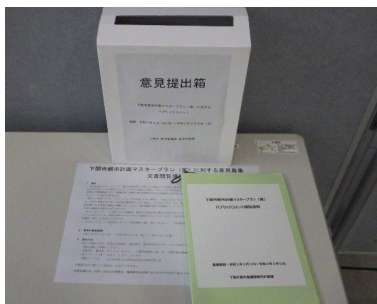
項目	内容
実施期間	令和3年（2021年）2月1日（月）～3月5日（金）（消印有効）
閲覧場所	本庁舎西棟1階エントランス／本庁舎東棟3階都市計画課／各総合支所／本庁管内各支所／中央図書館、各総合支所管内図書館／下関市ホームページ
実施方法	①所定の用紙を直接か郵送、ファックス、メールで都市計画課に提出 ②閲覧場所に設置の提出箱へ投函 ※所定の用紙には、住所・名前・電話番号・意見等を記入する必要あり ※電話や口頭での意見の提出不可
意見募集の内容	下関市都市計画マスタープラン（案） 第1章～第4章（全体構想）
応募者数（意見件数）	6人（33件）

<令和3年度>

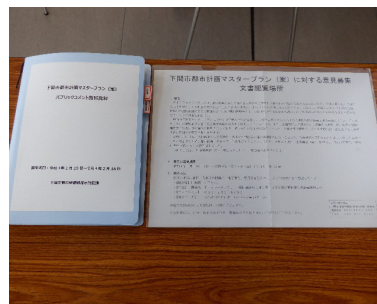
項目	内容
実施期間	令和4年（2022年）1月19日（水）～2月18日（金）（消印有効）
閲覧場所	本庁舎西棟1階エントランス／本庁舎東棟3階都市計画課／各総合支所／本庁管内各支所／中央図書館、各総合支所管内図書館／下関市ホームページ
実施方法	①所定の用紙を直接か郵送、ファックス、メールで都市計画課に提出 ②閲覧場所に設置の提出箱へ投函 ※所定の用紙には、住所・名前・電話番号・意見等を記入する必要あり ※電話や口頭での意見の提出不可
意見募集の内容	下関市都市計画マスタープラン（案） 第1章～第4章（全体構想） ※令和2年度パブリックコメント実施済み 下関市都市計画マスタープラン（案） 第5章～第6章（地域別構想） （参考資料）各地域の現況と課題／用語解説
応募者数（意見件数）	11人（47件）



▲閲覧場所の様子



▲実施方法（令和2年度）



▲実施方法（令和3年度）

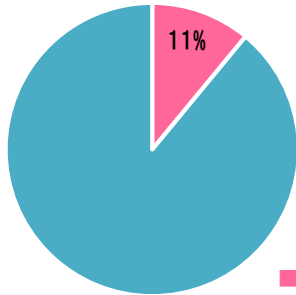
参考資料 5 各地域の現況と課題

市街地中心地域

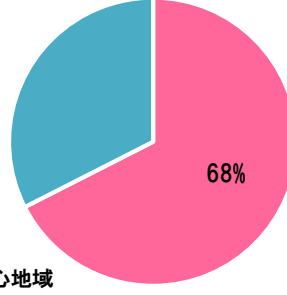
(1) 地域の現況と課題

1) 地域の概要

市域に対する地域面積の割合



市域に対する地域人口の割合



■地域の概要

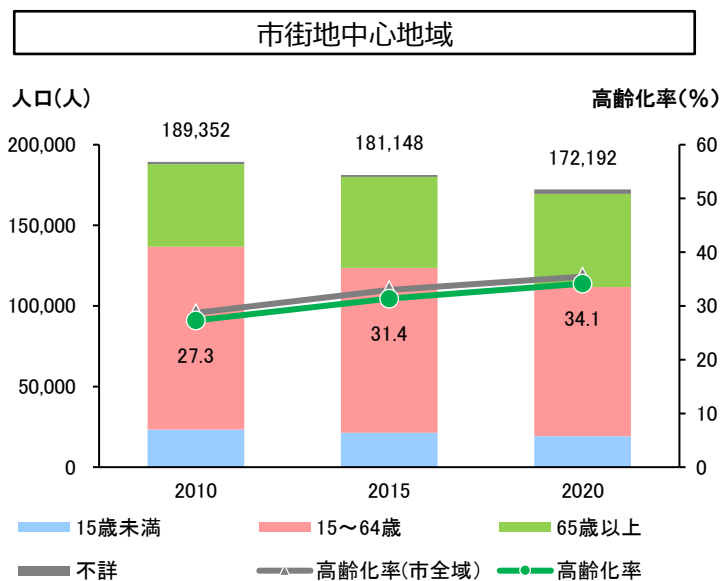


位置図

面積	7,868ha	人口(R2)	172,192人	人口密度(R2)	21.89人/ha	世帯数(R2)	81,104世帯
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ●三方を海に面し、臨海部に観光地や工業地などが形成され、内陸部に住宅地が形成。 ●下関都市計画区域の市街化区域の大部分を有し、本市の都市ストックが集積する地域。 ●中心地区、山の田地区、彦島地区、勝山地区、長府地区、川中地区にそれぞれ拠点が存在。 						
主な幹線道路	中国縦貫自動車道、国道2号、国道9号、国道191号下関北バイパス、国道491号、(一)福浦港金比羅線、(主)下関長門線、(一)安岡港長府線、(都)長府綾羅木線など						
鉄道・公共交通	J R山陽本線(下関駅、幡生駅、新下関駅、長府駅)、J R山陰本線(幡生駅、綾羅木駅、梶栗郷台駅)、山陽新幹線、バスターミナル、国際フェリーターミナル・渡船 など						
主な公園緑地	火の山公園、下関運動公園、老の山公園、彦島地区公園、彦島南公園、巖流島展望公園、日和山公園、桜山近隣公園、金比羅公園、一里山公園、みもすそ川公園、戦場ヶ原公園、幡生宮の下近隣公園、権現山公園、川中中央公園、勝山地区公園、秋根記念公園、住吉公園、関見台公園 瀬戸内海国立公園(満珠島・干珠島周辺から関門トンネル周辺までの周防灘の一部)						
河川	田中川、武久川、大坪川、綾羅木川、砂子多川、秀波川、前田川、印内川、八幡川、郷川・稗田川・西無田川 など						
上下水道等	下水道：筋ヶ浜終末処理場(筋ヶ浜処理区)、彦島終末処理場(彦島処理区)、山陰終末処理場(山陰処理区) 上水道：長府浄水場、高尾浄水場、日和山浄水場						
主な公共公益施設	市役所、支所、下関地方合同庁舎、下関港湾合同庁舎、山口県下関合同庁舎、サテライトオフィス山の田、各保健センター、各図書館、下関市民会館、生涯学習プラザ、ふくふくこども館、下関市教育センター、こども発達センター、市民プール、新下関市場、唐戸市場、大和町市場、南風泊市場、下関合同花き市場、市民病院、下関医療センター、夜間急患診療所、関門医療センター、下関市奥山清掃工場、リサイクルプラザ、大谷斎場、壇之浦PA など						
地域資源	産業	長州出島、西山・福浦地区工業地、長府扇町工業団地、新下関卸団地 など					
	観光レクリエーション	海峡ゆめタワー、海響館、はい!からっと横丁、火の山ユースホテル、満珠荘、国民宿舎海峡ビューしものせき、ひこつとらんどマリンビーチ、武久海水浴場、綾羅木海水浴場、ヘルシーランド下関 など					
	歴史文化	巖流島、近代先人顕彰館、旧下関英国領事館、日清講和記念館、長府毛利邸、長府庭園、美術館、歴史博物館、考古博物館・綾羅木郷遺跡、住吉神社、勝山御殿跡 など					

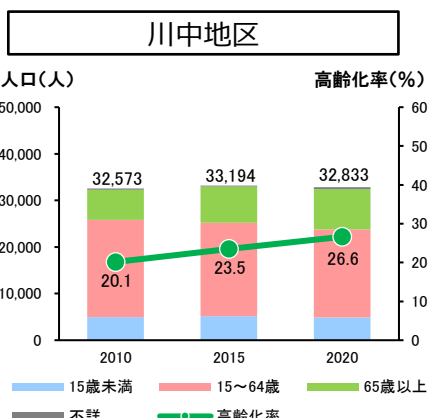
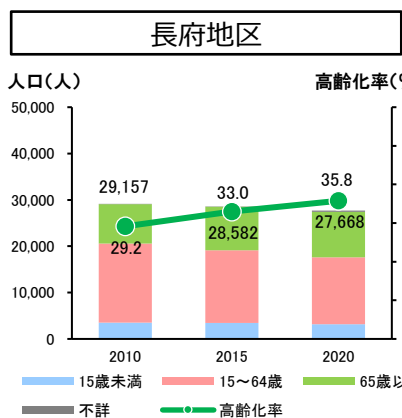
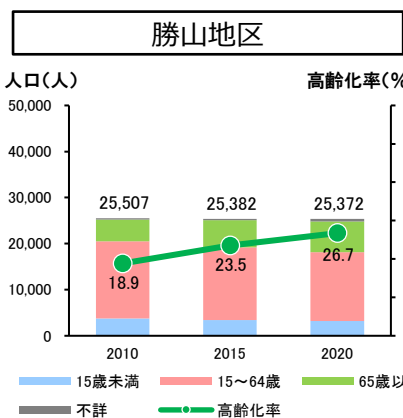
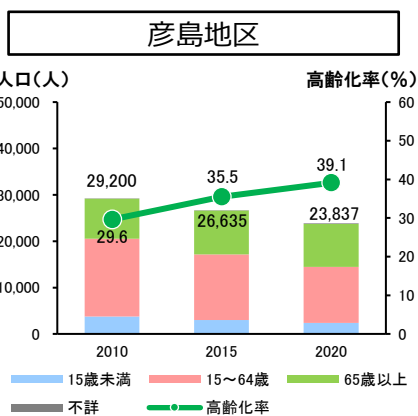
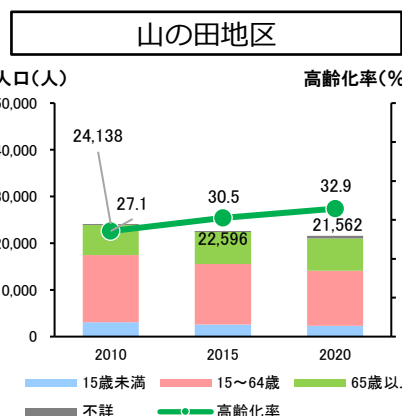
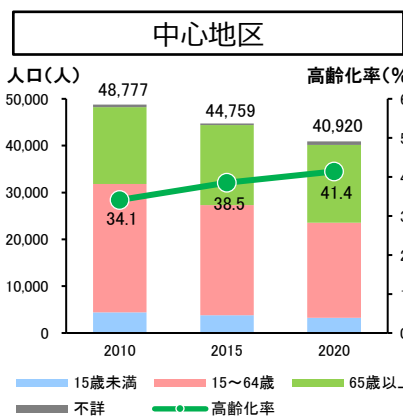
2) 人口の推移

■ 地域人口の推移



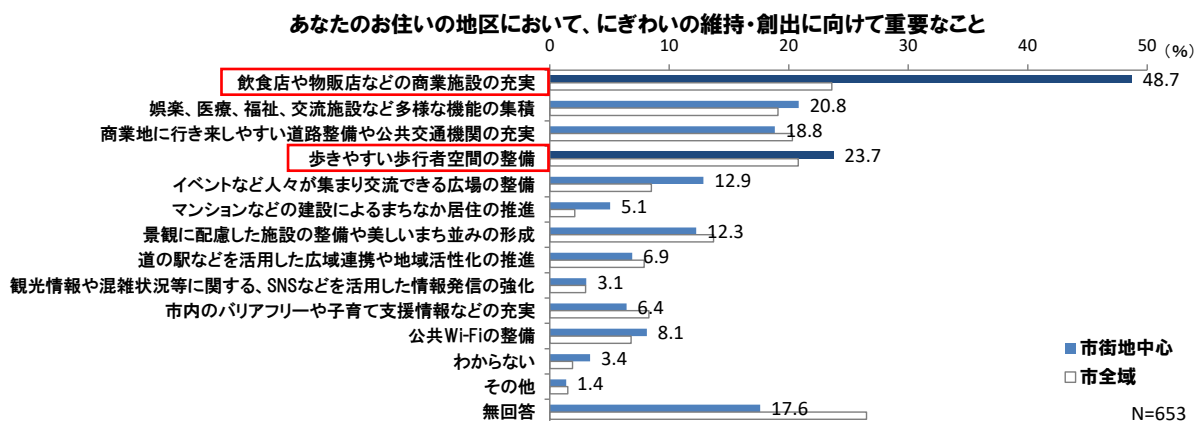
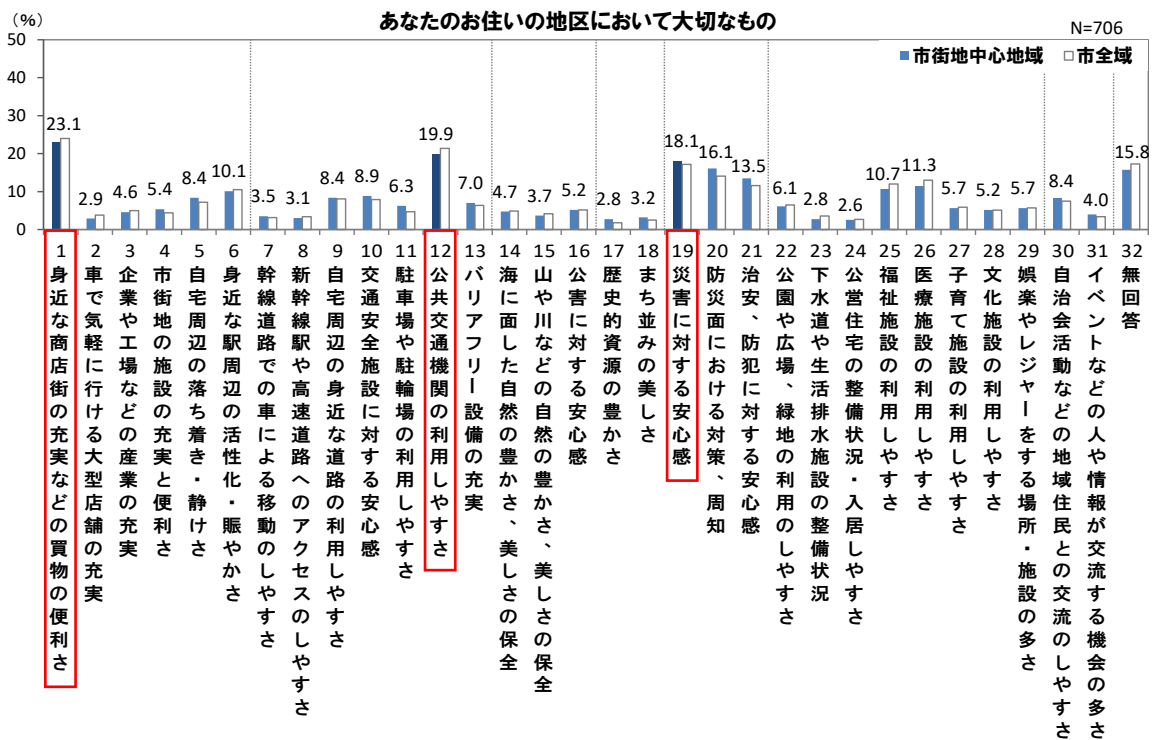
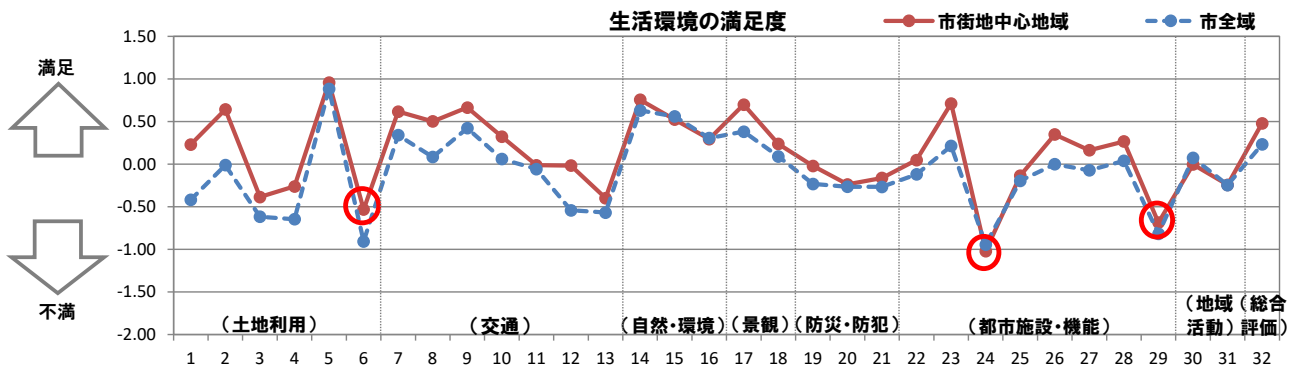
■ 地区別人口の推移

- ・ 地域人口は市全域の約68%を占めるが、減少傾向にあり、高齢化が進んでいる。
- ・ 中心地区、彦島地区では、高齢化率が市全域と比較して高く、人口が減少傾向にある。
- ・ 山の田地区、長府地区では、高齢化率が市全域と比較して同程度、人口は緩やかに減少傾向にある。
- ・ 勝山地区、川中地区では、高齢化率が市全域と比較して低く、人口は横ばいである。



3) 住民意向

- 生活環境の満足度は、総じて他地域に比べて高いが、他地域と同様に「公営住宅」、「娯楽・レジャー」、「駅周辺の賑わい・活性化」の満足度は低い。
- 居住地区で大切なものは、「買物」や「公共交通」の便利さ、「災害に対する安心感」。
- 賑わい創出に向けては、「商業施設の充実」が他地域に比べて重視されており、次いで「歩行者空間の整備」が多い。



資料：下関市市民アンケート（令和元年12月）

(2) 地域づくりの課題

項目	現況	住民意向	主要課題	
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少、高齢化が市域全体同様に行進し、密度の低下、まちなかの賑わいやコミュニティの低下が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公営住宅の整備状況・入居しやすさ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちなかの賑わいや居住の整備 	
土地利用・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> 下関都市計画の市街化区域の大部分を有し、本市の高次な都市機能が集積する。 中心、山の田、彦島、勝山、長府、川中の各地区にそれぞれ地域拠点が存在する。 空き家・空き店舗が増加している。 商業、工業、住宅など多様な土地利用が展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「身近な駅周辺の活性化・賑やかさ」「娯楽・レジャー」に対する満足度が市全体と比べ高い。 居住地区では「買物の便利さ」の満足度が高く、大切なものとされている。 賑わいの維持・創出に向けて「商業施設の充実」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●賑わいに資する駅周辺から唐戸地区周辺にかけての都市機能 ●各地区や主要幹線道路沿道の土地利用 ●低未利用地 ●地区特性に配慮した市街地の改善整備 	
都市施設整備 (交通体系整備)	<ul style="list-style-type: none"> 下関北九州道路の整備促進に向けた取組が行進している。 国道2号、9号、191号など広域都市と結ぶ主要幹線道路が通過する。 山陽本線J R下関駅、下関港国際ターミナル、バスターミナル、長州出島など本市を代表する交通拠点が、多様な交通が集中する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公共交通機関の利用のしやすさ」は居住地区では他の項目と比べて大切なものとされている。 賑わいの維持・創出に向けて、「歩行者空間の整備」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●北九州方面との広域交流を促進する広域連携 ●多様な都市活動を支えるための道路交通網 ●主要な交通拠点としての機能強化 ●歩行者環境の改善 	
都市防災・その他施設整備	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害のリスクは、山裾に多く点在し、特に中心地区と彦島地区の市街地に多い。 浸水のリスクは、武久川、綾羅木川沿いの低平地に分布している。 高潮、津波のリスクは、中心地区から長府地区にかけての沿岸の市街地内に分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「災害に対する安心感」は居住地区では大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●高潮対策や洪水浸水対策 ●斜面住宅地や密集市街地の居住環境
	その他施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 下関運動公園など地域内外の人々のスポーツ、憩い・レクリエーション活動に資する拠点施設が集積している。 本市の代表的な公共公益施設が多く立地しているが、一部、老朽化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な地域地源を活かした交流の活性化 ●都市施設等の保全と維持管理
環境保全・環境形成・景観形成	<ul style="list-style-type: none"> 幕末から近代にかけての歴史的建造物が数多く残る。 瀬戸内海沿岸域は瀬戸内海国立公園に指定されている。 都市景観、夜間景観形成の取組が進められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 満足度は総じて高い。特に他地域よりも「歴史的資源の豊かさ」が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市拠点に相応しい景観形成や自然環境との調和 	

～主要課題から見た地域づくりの方向性～

- 拠点に相応しい賑わい創出に向けた駅周辺の活性化
- 賑わいや活力向上に向けたまちなか居住の推進
- 災害に強い地域づくりの推進

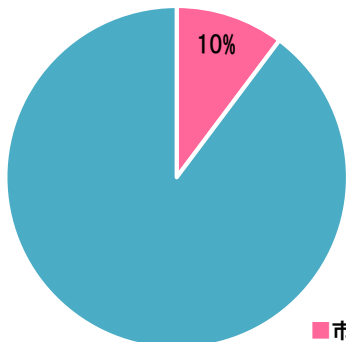
市街地東部地域



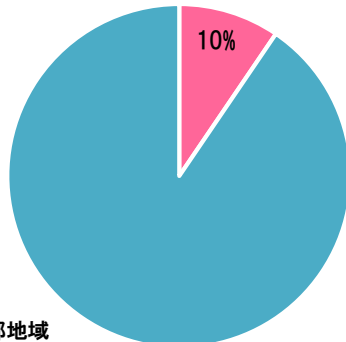
(1) 地域の現況と課題

1) 地域の概要

市域に対する地域面積の割合



市域に対する地域人口の割合



■市街地東部地域



位置図

■地域の概要

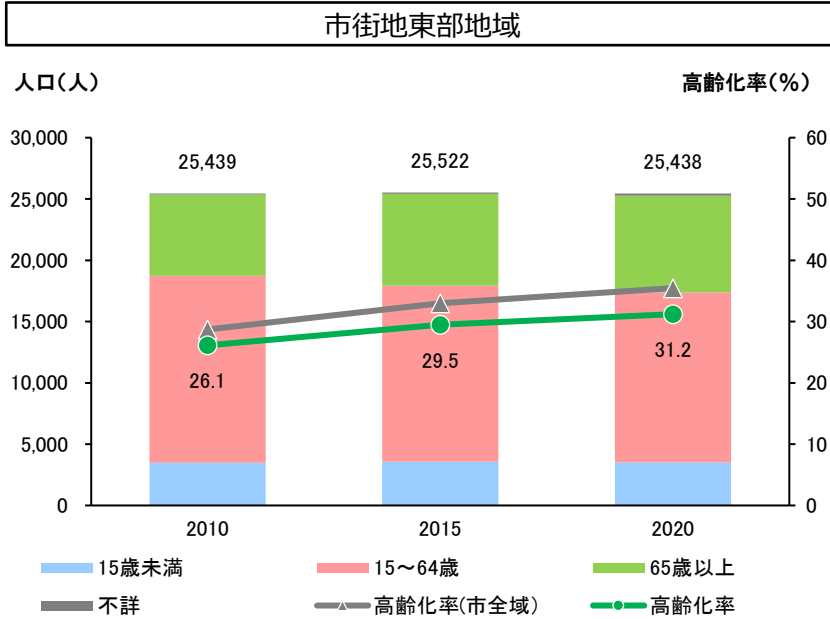
面積	7,335ha	人口(R2)	25,438人	人口密度(R2)	3.47人/ha	世帯数(R2)	10,298世帯
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ●北側は山地、南側は周防灘の海岸線が弧を描き、海岸線に沿って農地が広がっている。 ●山地と農地の間を走る国道491号沿いに市街地が形成。 						
主な幹線道路	中国縦貫自動車道、山陽自動車道、国道2号、国道491号、(主)下関美祢線、(主)豊浦清未線、(一)日野吉田線、(一)宇賀山陽線、豊関広域農道(グリーンロード) など						
鉄道・公共交通	J R山陽本線(小月駅) 路線バス						
主な公園緑地	乃木浜総合公園、小月公園、木屋川ラブリバーパーク 瀬戸内海国立公園(満珠島・干珠島周辺から関門トンネル周辺までの周防灘の一部)						
河川	木屋川、浜田川、神田川、 ^{かずみつ} 貞光川、奥山田川、堀川、埴生口川、柳瀬川、駒辻川、貞恒川、伊毛川 など						
上下水道等	下水道：山陽終末処理場(山陽処理区)						
主な公共施設	王司支所、清未支所、小月支所、王喜支所、吉田支所、海上自衛隊小月航空基地、王司PA						
地域資源	産業	木屋川工業団地、王喜漁港 など					
	観光レクリエーション	東行記念館、吉田温泉、王司温泉、下関ゴールデンGC など					
	歴史文化	奇兵隊陣屋跡、御茶屋跡・吉田宰判勘場跡、東行庵、法専寺(首切六地藏)、常関寺、蓮台寺 など					

2) 人口の推移

■人口の推移

- ・地域人口は横ばいであり、高齢化率は市全域と比較して低い。
- ・王司地区では人口が増加傾向にあるが、小月地区、吉田地区では減少傾向にある。清末地区、王喜地区は横ばいである。
- ・清末地区、王喜地区では、高齢化率が市全域より低いが、吉田地区では高齢化が急速に進んでいる。

■地域人口の推移

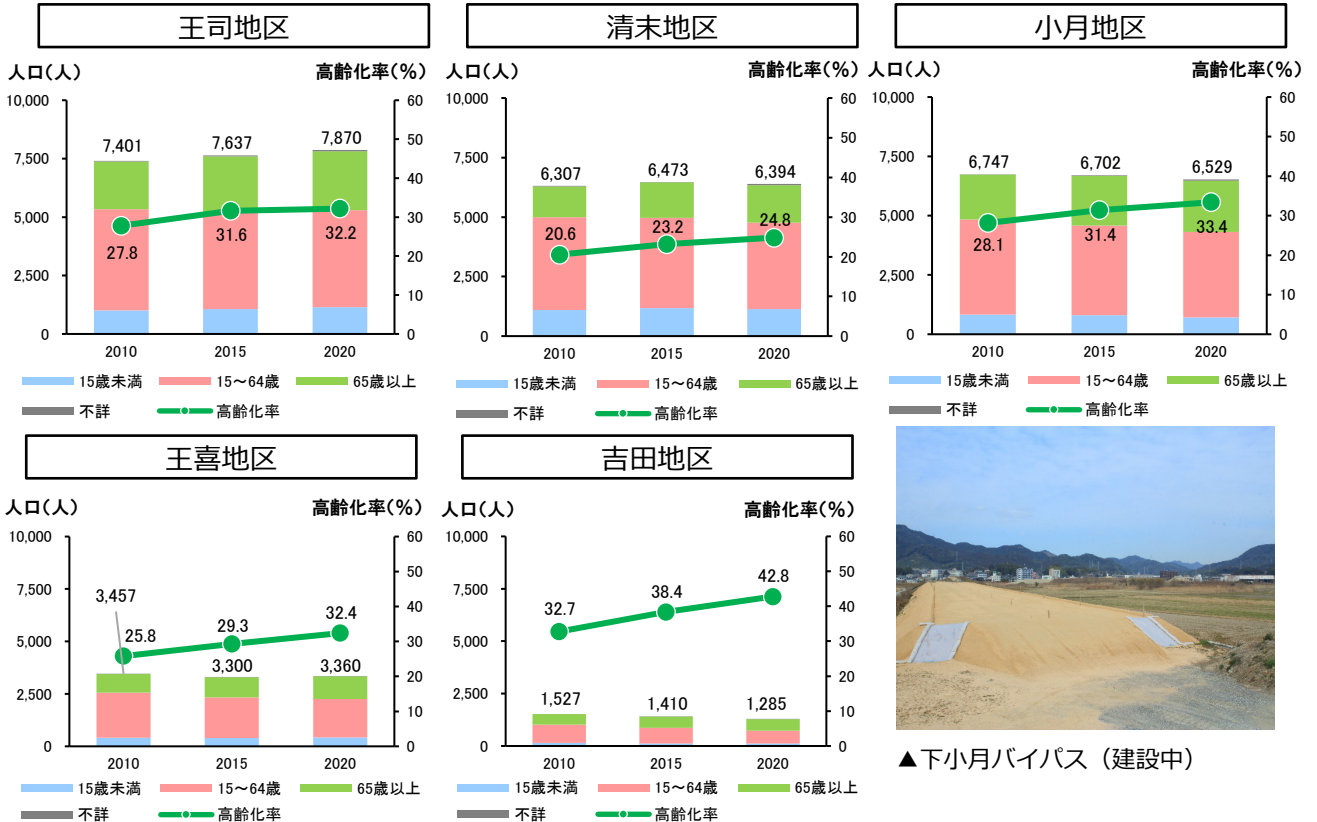


▲小月市街地



▲国道491号(高磯交差点)

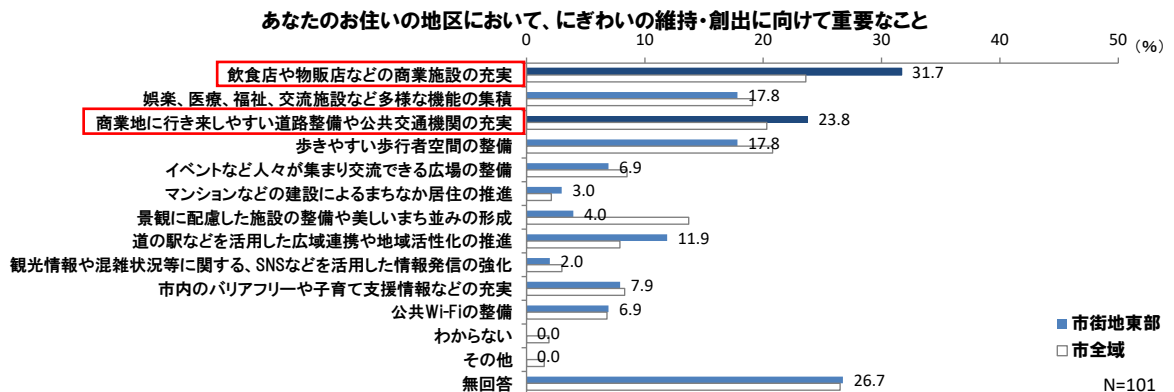
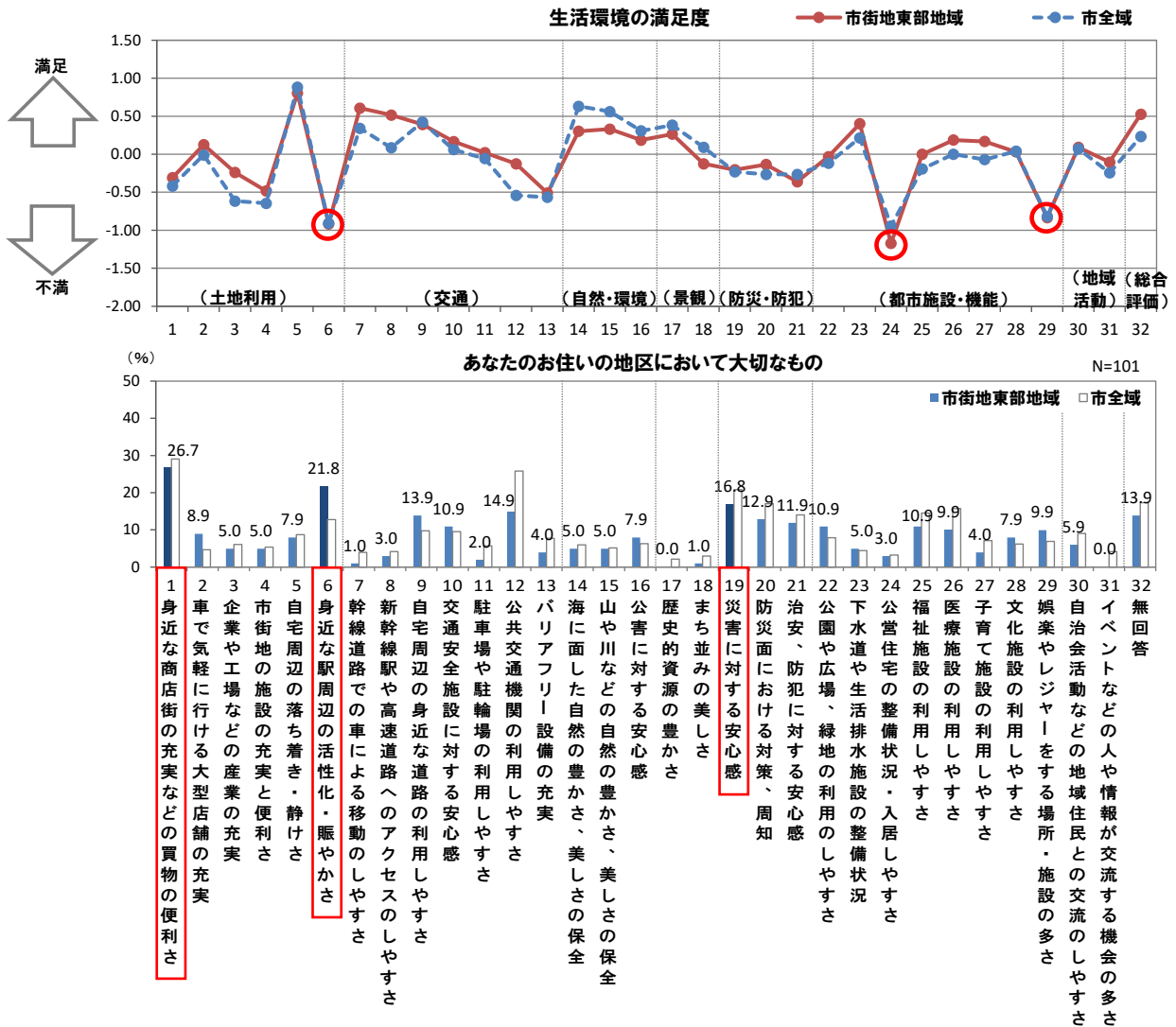
■地区別人口の推移



▲下小月バイパス(建設中)

3) 住民意向

- 生活環境の満足度は、自然・環境、景観の分野では他地域に比べて低い、「新幹線駅や高速道路へのアクセス」、「公共交通」などは比較的高い。他地域と同様、「公営住宅」、「娯楽・レジャー」、「駅周辺の賑わい・活性化」の満足度は低い。
- 居住地区で大切なものは、「買物」、「身近な駅周辺の活性化・賑やかさ」、「災害に対する安心感」。
- 賑わい創出に向けては、「商業施設の充実」と「道路整備や公共交通機関の充実」が重視されている。



資料：下関市市民アンケート（令和元年12月）

(2) 地域づくりの課題

項目		現況	住民意向	主要課題
人口		<ul style="list-style-type: none"> 人口は王司地区で増加しているが、小月、吉田地区では減少している。 吉田地区での高齢化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公営住宅の整備状況・入居しやすさ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少と高齢化の進行
土地利用・市街地整備		<ul style="list-style-type: none"> 小月駅周辺が地域拠点として位置づけられている。 地域北側は山地、南側は周防灘の海岸線に沿って農地が広がる。 山地と農地の間を走る国道491号沿いに市街地が形成されている。 国道2号と491号に挟まれた農地、市街地背後の(主)下関美祢線・(主)豊浦清未線沿いで宅地化が進行している。 木屋川工業団地など、中国縦貫自動車道小月ICを活かした工業系土地利用が展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「身近な駅周辺の活性化・賑やかさ」に対する満足度が低い。 居住地区では「買物の便利さ」、「身近な駅周辺の活性化・賑やかさ」が大切なものとされている。 「海・山・川の自然の豊かさ美しさ」に対する満足度が市全域と比べ低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域拠点機能の維持 ●都市的土地利用と自然的土地利用との調和 ●幹線道路沿いの適切な土地利用 ●営農環境と集落の保全
都市施設整備 (交通体系整備)		<ul style="list-style-type: none"> 国道2号、491号、(主)下関美祢線、(主)豊浦清未線などの主要幹線道路が通過する。 中国縦貫自動車道小月ICがあり、広域交通の利便性に優れる。 山陽本線JR小月駅があり、また、鉄道と路線バスが運行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路や公共交通への満足度は他地域と比べ高い。 居住地区での賑わい創出や活性化に向けて道路・公共交通の充実が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域交流の活性化に資する広域連携や幹線道路の整備 ●地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築
都市防災・その他施設整備	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> 高潮、津波のリスクは、沿岸の市街地内に広く分布している。 土砂災害のリスクは、山間部の主要幹線道路沿いに分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「災害に対する安心感」は居住地区では大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に強い道路整備と緊急物資輸送路の確保 ●沿岸部、主要幹線道路沿いの防災
	その他施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 乃木浜総合公園、小月公園など拠点的な公園が立地している。 公共下水道による生活排水処理が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市施設等の保全と維持管理 ●拠点的公園の魅力化
環境保全・環境形成・景観形成		<ul style="list-style-type: none"> 吉田地区には、東行庵、奇兵隊陣屋跡など歴史文化資源が多い。 南側に周防灘と農地、北側には自然環境豊かな山林が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自宅周辺の落ち着き、静けさ」の満足度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史文化資源の保全と活用 ●田園・集落景観や自然環境の保全と調和

～主要課題から見た地域づくりの方向性～

- 交通利便性を活かした産業・交流の活性化
- 自然環境や歴史環境と調和した地域づくりの推進
- 災害に強い地域づくりの推進

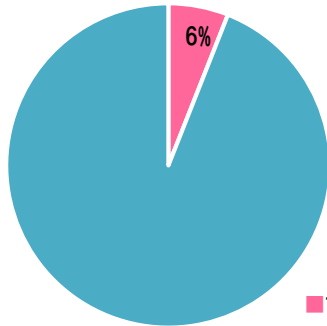
市街地西部地域



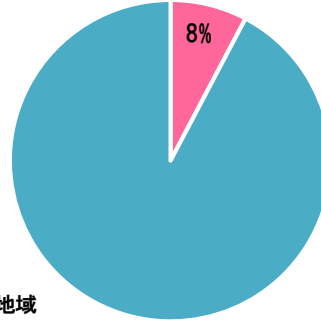
(1) 地域の現況と課題

1) 地域の概要

市域に対する地域面積の割合



市域に対する地域人口の割合



■ 市街地西部地域



位置図

■ 地域の概要

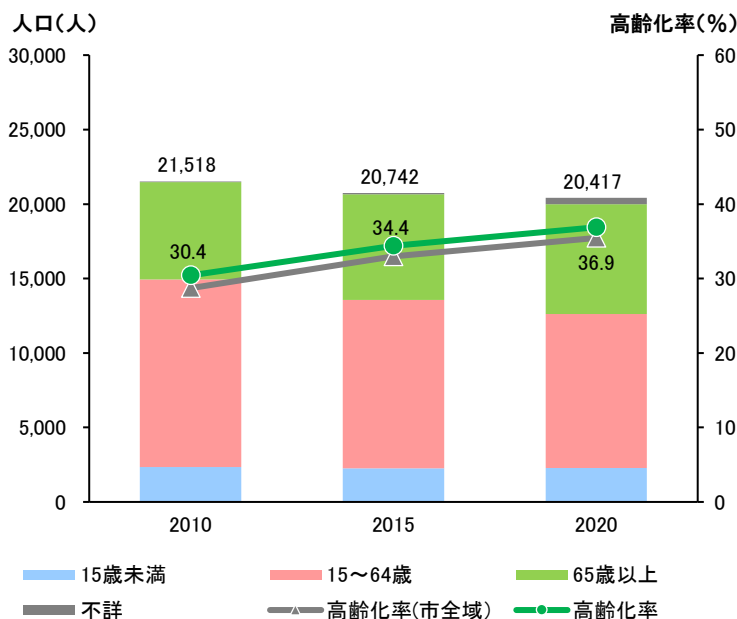
面積	4,288ha	人口(R2)	20,417人	人口密度(R2)	4.76人/ha	世帯数(R2)	8,710世帯
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ● <small>おにがしよ</small> 鬼ヶ城や竜王山などの標高 600m超の山々が連なる。 ● 海岸沿いの平野部に安岡地区や吉見地区などの市街地が形成。 ● 安岡地区の市街化区域外縁部で、一部宅地化が進行。 						
主な幹線道路	国道 191 号、(一)安岡港長府線、(一)下関川棚線、(一)永田郷室津川棚線 など						
鉄道・公共交通	J R山陰本線 (安岡駅、福江駅、吉見駅) 路線バス						
主な公園緑地	下関北運動公園、安岡地区公園						
河川	永田川、草場川、西田川、吉見川、船越川、馬渡川、友田川、横野川、梶栗川、深坂ダム など						
上下水道等	漁業集落排水 (蓋井島処理区)						
主な公共公益施設	安岡支所、吉見支所、園芸センター、済生会下関総合病院、水産大学校、栽培漁業センター、吉母管理場、海上自衛隊下関基地						
地域資源	産業	栽培漁業センター、吉母漁港、吉見漁港 など					
	観光レクリエーション	毘沙ノ鼻、安岡海水浴場、吉見海水浴場、吉母海水浴場、下関フィッシングパーク、深坂自然の森、吉見温泉					
	歴史文化	梶栗浜遺跡					

2) 人口の推移

- ・ 地域人口は減少傾向にあり、高齢化率は市全域と比較してやや高い。
- ・ 安岡地区では、人口が横ばいであるが、高齢化率は市全域と比較してやや低い。
- ・ 吉見地区では、人口が過去 10 年間で約 14%減少し、高齢化率は約 42.6%と市全域を上回っている。

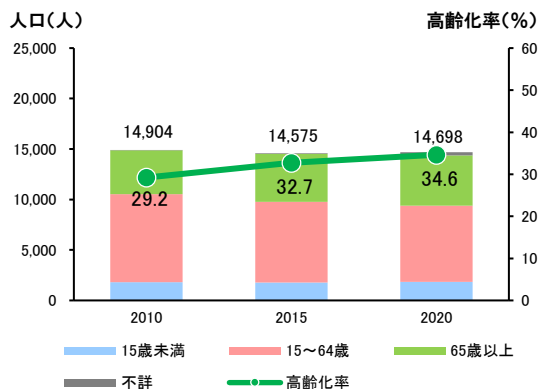
■ 地域人口の推移

市街地西部地域

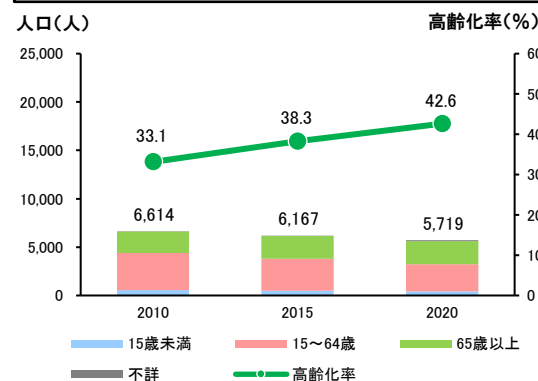


■ 地区別人口の推移

安岡地区



吉見地区



▲ J R 吉見駅



▲ 県道安岡港長府線



▲ 吉母海岸



▲ 友田川



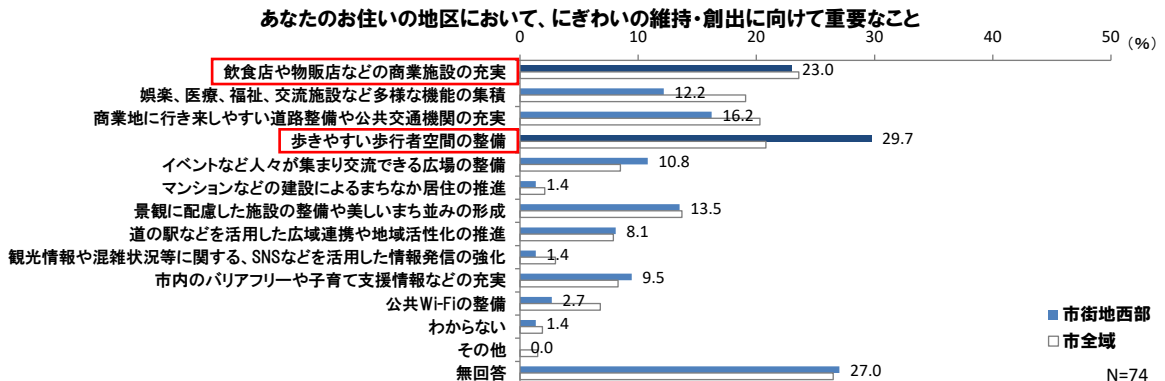
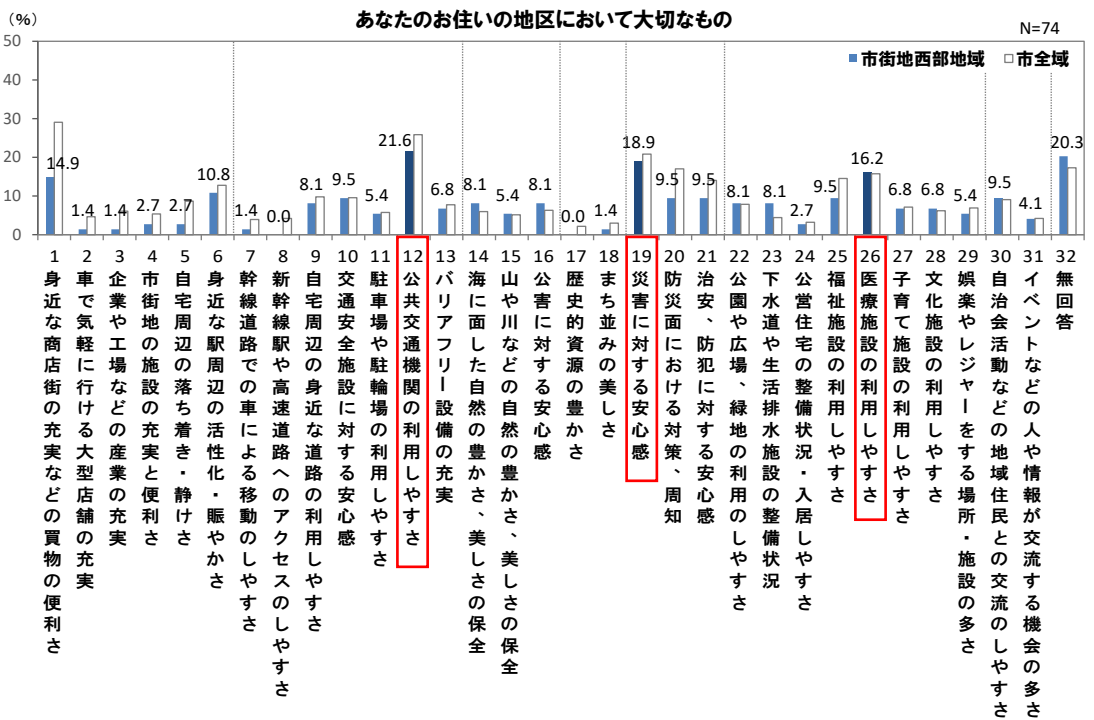
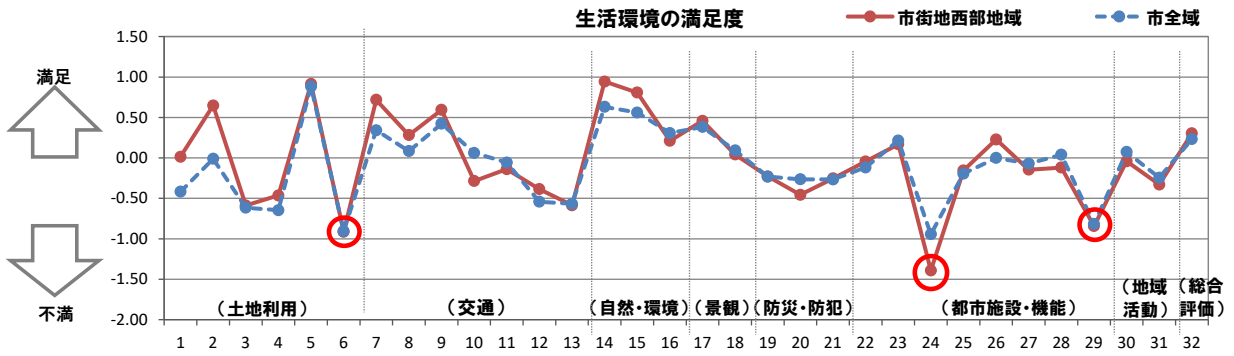
▲ 蓋井島渡航船乗り場



▲ 海上自衛隊下関基地周辺

3) 住民意向

- 生活環境の満足度は、「公営住宅」が他地域に比べて低いが、「大型店舗の充実」、「海、山、川の自然の豊かさ、美しさ」などは他地域に比べて、高い。
- 居住地区で大切なものは、「公共交通機関」の便利さや「買物」・「医療施設」の便利さ、「災害に対する安心感」。
- 賑わい創出に向けては、特に「歩きやすい歩行者空間の整備」が他地域に比べて重視されており、次いで「商業施設の充実」が多い。



資料：下関市市民アンケート（令和元年12月）

(2) 地域づくりの課題

項目	現況	住民意向	主要課題	
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口は市全域並みに減少傾向にあり、高齢化率は市全域より高く、増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 賑わい創出に向けて「商業施設の充実」が重要視されている。 「公営住宅の整備状況・入居のしやすさ」への満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少と高齢化の進行 	
土地利用・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> J R安岡駅周辺は、地域拠点として位置づけられている。 海岸沿いの低平地に市街地が形成されている。 市街地背後の幹線道路沿いに農地が広がる。 市街化調整区域内の(一)下関川棚線や(一)安岡港長府線沿いで宅地化が進行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「海、山、川の自然の豊かさ、美しさ」に対する満足度は高い。 居住地区では「医療施設の利用のしやすさ」が大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域拠点機能の維持 ●周辺環境の調和と生活利便性の確保 ●営農環境や自然環境の保全 ●幹線道路沿いの適切な土地利用 	
都市施設整備 (交通体系整備)	<ul style="list-style-type: none"> 国道 191 号、(一)安岡港長府線、(一)下関川棚線などの主要幹線道路が通過する。 山陰本線 J R 安岡駅・福江駅・吉見駅があり、また、路線バスが運行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公共交通機関の利用のしやすさ」は居住地区では他の項目と比べて大切なものとされている。 「歩行者空間の整備」が他地域に比べ重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域交流の活性化に資する広域連携と幹線道路の整備 ●地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築 ●歩行者環境や駅周辺の賑わいの創出 	
都市防災・その他施設整備	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> 浸水のリスクは、安岡の市街地内や友田川沿いに分布している。 土砂災害のリスクは、吉見の市街地背後に分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「災害に対する安心感」は居住地区では大切なものとされている。 「防災面における対策・周知」が他地域に比べ満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●主要河川の防災 ●災害に強い道路整備と緊急物資輸送路の確保
	その他施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 下関北運動公園、下関フィッシングパーク、深坂自然の森など拠点的な公園やレクリエーション施設が立地している。 公共下水道、漁業集落排水事業による生活排水処理が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市施設等の保全と維持管理
環境保全・環境形成・景観形成	<ul style="list-style-type: none"> 市街地近傍に海水浴場が分布し、市街地・農地の背後には自然環境豊かな山林が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「海に面した自然、山や川などの自然の豊かさ、美しさ」の満足度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地と自然環境との調和 ●田園・集落景観や自然景観の保全と調和 	

～主要課題から見た地域づくりの方向性～

- 地域資源を活かした賑わい・交流の活性化
- 豊かな自然環境、営農環境と調和した土地利用の誘導
- 公共交通などの日常生活の利便性確保や河川などの防災対策の充実

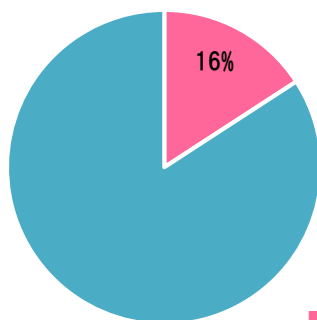
菊川・内日地域



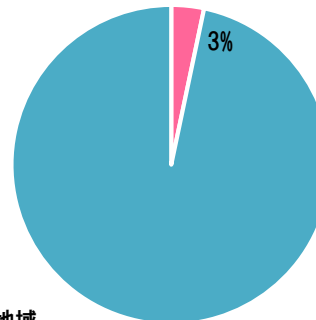
(1) 地域の現況と課題

1) 地域の概要

市域に対する地域面積の割合



市域に対する地域人口の割合



■ 菊川・内日地域



■ 地域の概要

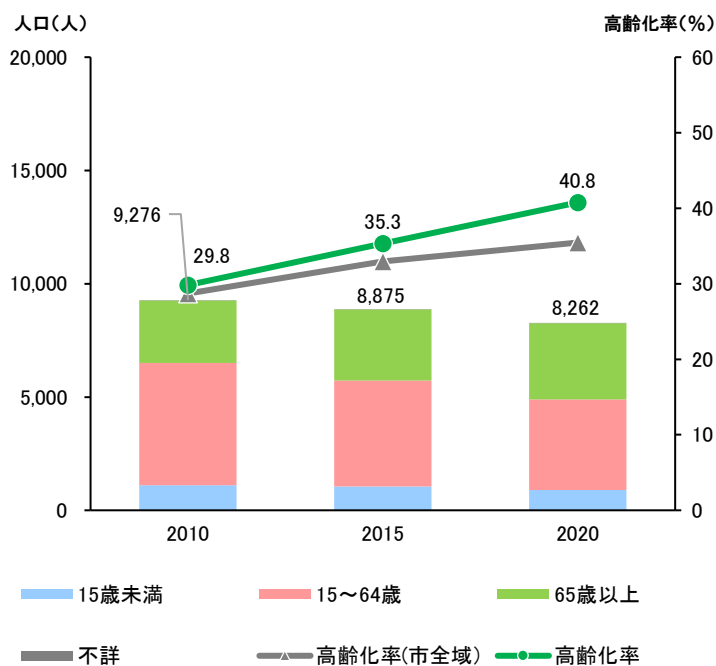
面積	11,338ha	人口(R2)	8,262人	人口密度(R2)	0.73人/ha	世帯数(R2)	3,204世帯
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 内陸部の低平地に市街地が形成され、その周辺に集落地、農地、森林が広がる。 ● 地域全体が下関北都市計画区域（非線引き）で、特定用途制限地域に指定されている。 ● 菊川総合支所周辺に日常生活サービス、行政、文化、レクリエーション等の都市機能が集積する。 						
主な幹線道路	国道491号、(主)下関長門線、(主)豊浦清未線、(一)豊浦久野線、(一)宇賀山陽線、(一)七見小月線、(一)美祢菊川線、(一)日野吉田線、豊浦広域農道（グリーンロード）など						
鉄道・公共交通	路線バス、生活バス						
主な公園緑地	菊川運動公園、多武の峰公園、遊遊広場 豊田県立自然公園						
河川	木屋川、願王寺川、七見川、田部川、歌野川、高地川、山瀬川、入野川、貴飯川、久野川 など						
上下水道等	下水道：農業集落排水（大野処理区、菊川中央処理区、上田部処理区、檜崎処理区、古賀処理区） 上水道：湯の原ダム、内日第一貯水池、内日第二貯水池						
主な公共公益施設	菊川総合支所、菊川保健センター、菊川図書館、菊川総合交流ターミナル、道の駅きくがわ						
地域資源	産業	豊東工業団地、菊川堆肥センター					
	観光レクリエーション	菊川自然活用村、菊川温泉（サングリーン菊川）、歌野清流庵、関門菊川G C					
	歴史文化	快友寺、願王寺、法輪寺、慈光寺、最明寺、中野家住宅、植松古墳 など					

2) 人口の推移

- ・地域人口は減少傾向にあり、高齢化率は市全域と比較してやや高い。
- ・菊川地区では、人口が過去10年間で約9%減少し、高齢化率は市全域と比較してやや高い。
- ・内日地区では、人口が同期間で約21%減少し、高齢化率は約49.8%と市全域を大きく上回り、高齢化が顕著である。

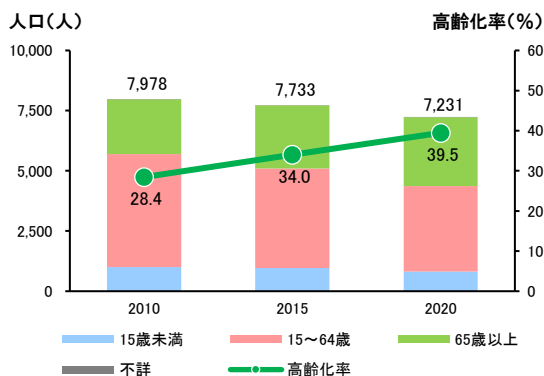
■地域人口の推移

菊川・内日地域

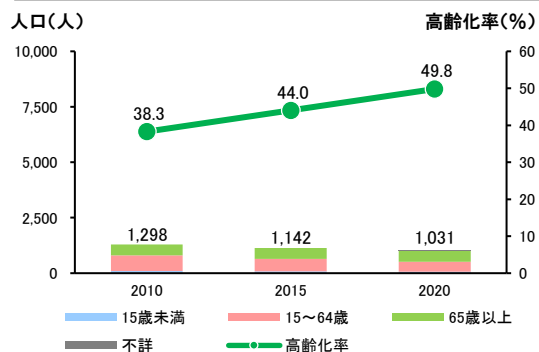


■地区別人口の推移

菊川地区



内日地区



▲菊川体育館



▲道の駅きくがわ



▲県道下関長門線 (内日周辺)



▲内日支所 (内日公民館)



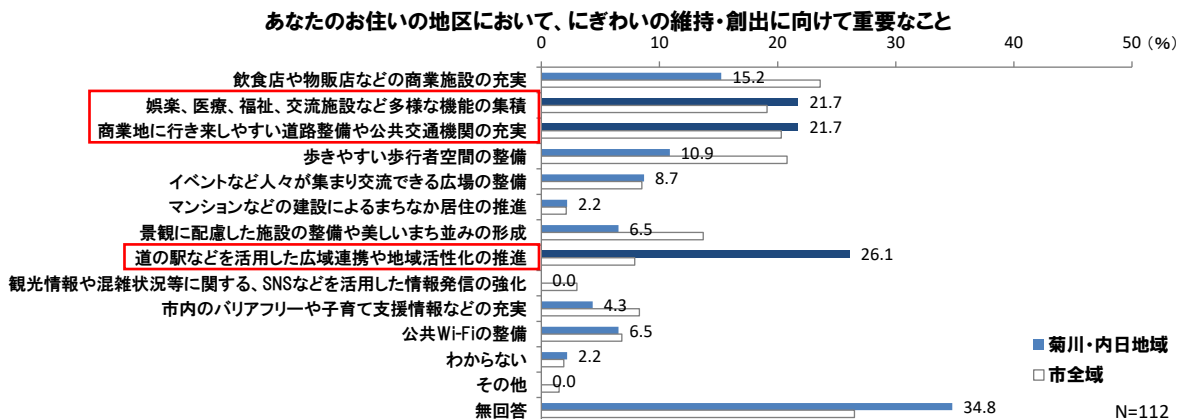
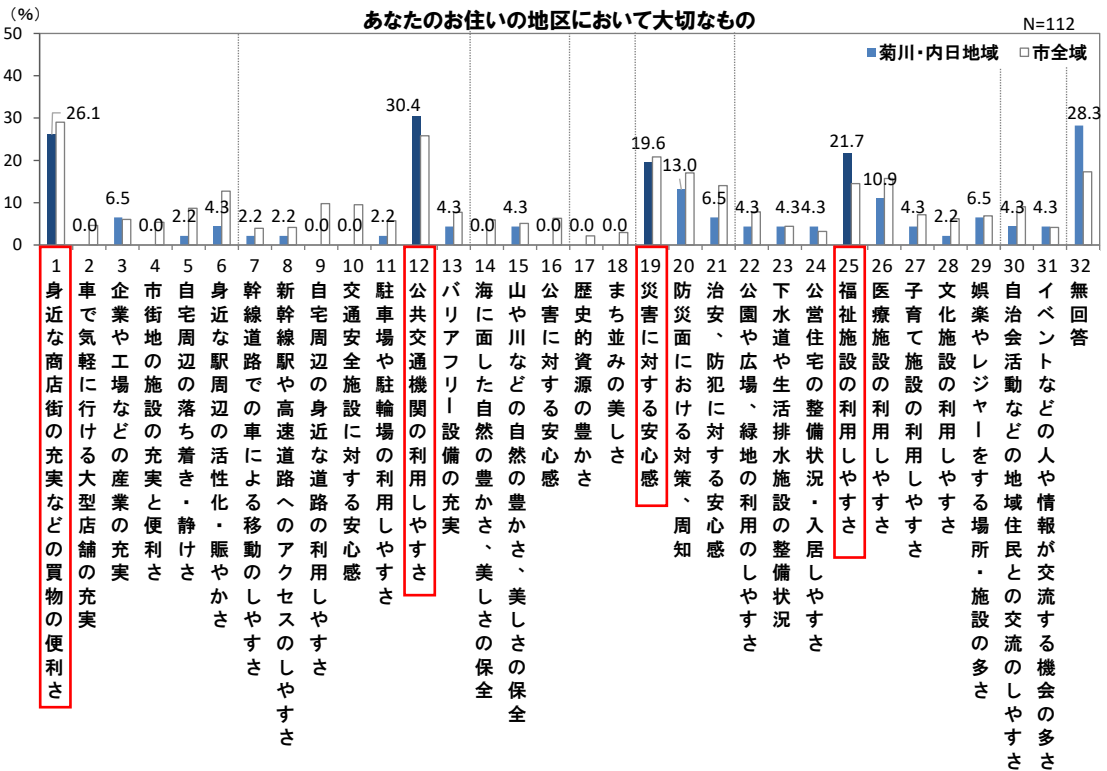
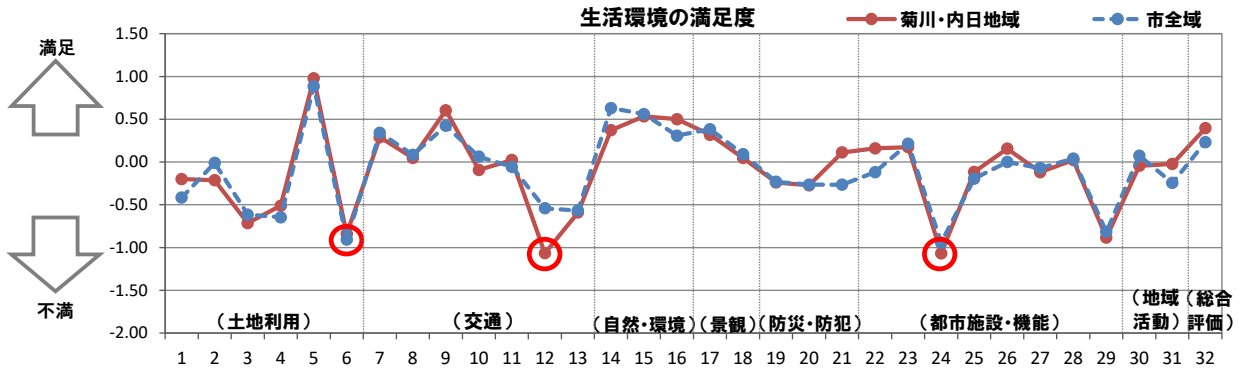
▲菊川運動公園



▲国道491号

3) 住民意向

- 生活環境の満足度は、「公共交通機関の利便性」が他地域に比べて低い、それ以外は市全域と同じ傾向にある。
- 居住地区で大切なものは、「公共交通機関」の便利さや「買い物」・「福祉施設」の便利さ、「災害に対する安心感」。
- 賑わい創出に向けては、特に「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が他地域に比べて重視されており、次いで「多様な機能の集積」、「公共交通機関の充実」が多い。



資料：下関市市民アンケート（令和元年12月）

(2) 地域づくりの課題

項目		現況	住民意向	主要課題
人口		<ul style="list-style-type: none"> 人口は市全域並みに減少傾向にあり、高齢化率は市全域より高く、高齢化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公営住宅の整備状況・入居しやすさ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化の進行と居住の整備
土地利用・市街地整備		<ul style="list-style-type: none"> 道の駅～菊川総合支所周辺は地域拠点（田園住宅型）に位置付けられている。 木屋川、田部川などの河川沿いに農地が広がっているが、国道491号など幹線道路沿いで宅地化が進行している。 内日地区の集落周辺には農地が広がる。 宅地や農地の背後には自然豊かな山地が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自宅周辺の落ち着き・静けさ」に対する満足度は高い。 居住地では「身近な商店街の充実などの買物の便利さ」「福祉施設の利用のしやすさ」が大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティに資する地域拠点機能 ● 周辺環境の調和と生活利便性の確保 ● 営農環境や自然環境の保全
都市施設整備（交通体系整備）		<ul style="list-style-type: none"> 国道491号、(主)下関長門線、(主)豊浦菊川線などの主要幹線道路が通過する。 路線バスと生活バスが運行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公共交通機関の利用のしやすさ」は市全域に比べ満足度が低く、居住地区では大切なものとされている。 賑わいの維持・創出に向けて「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域交流の活性化に資する広域連携と幹線道路の整備 ● 地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築
都市防災・その他施設整備	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害のリスクは、山裾の幹線道路沿いに分布している。 浸水のリスクは、木屋川沿いなどの低平地に分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「災害に対する安心感」は居住地区では大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要河川の防災 ● 災害に強い道路整備と緊急物資輸送路の確保
	その他施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 菊川運動公園、多武の峰公園など支所周辺に拠点的な公園が立地している。 農業集落排水事業による生活排水処理が行われている。 木屋川・田部川などの河川、湯の原ダム・内日第一貯水池などの水資源が分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「娯楽やレジャーをする場所、施設の多さ」に対する満足度が低い。 賑わいの維持・創出に向けて「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な地域資源を活かした交流の活性化 ● 都市施設等の保全と維持管理
環境保全・環境形成・景観形成		<ul style="list-style-type: none"> 集落地、農地の背後には自然活用村をはじめ豊田県立自然公園など豊かな自然環境を有する山地が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然・環境、景観に対する満足度は市全域と同様に満足度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 田園・集落景観や自然景観の保全と調和 ● 河川環境の保全と河川景観の活用

～主要課題から見た地域づくりの方向性～

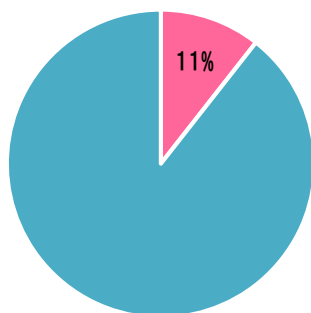
- 地域資源を活かした交流の推進
- 自然環境、営農環境と調和した土地利用の誘導
- 公共交通などの日常生活の利便性確保や河川などの防災対策の充実



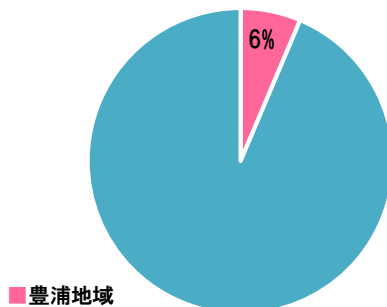
(1) 地域の現況と課題

1) 地域の概要

市域に対する地域面積の割合



市域に対する地域人口の割合



位置図

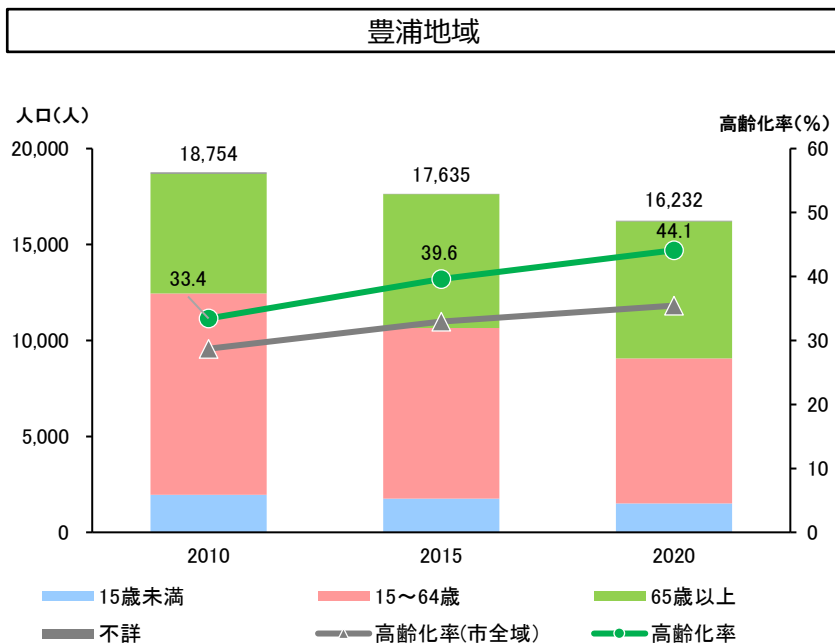
■地域の概要

面積	7,583ha	人口(R2)	16,232人	人口密度(R2)	2.14人/ha	世帯数(R2)	6,962世帯
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ●地域南東部は、<small>おにがじょう</small> 鬼ヶ城 や <small>かろうとやま</small> 狩音山 などの山々が連なる。 ●地域南部には、比較的緩やかな斜面地に閑静な田園集落が広がる。 ●地域全体が下関北都市計画区域（非線引き）で、特定用途制限地域に指定されている。 ●JR山陰本線を沿うように市街地が形成。豊浦総合支所周辺に日常生活サービス、行政、文化、レクリエーション等の都市機能が集積する。 						
主な幹線道路	国道191号、(主)豊浦清末線、(一)豊浦久野線、(一)豊浦菊川線、(一)豊浦豊田線、(一)永田郷室津川棚線、(一)宇賀山陽線、(一)下関川棚線 など						
鉄道・公共交通	JR山陰本線（梅ヶ峠駅、黒井村駅、川棚温泉駅、小串駅、湯玉駅、宇賀本郷駅） 路線バス						
主な公園緑地	リフレッシュパーク豊浦、国見台森林公園、川棚のクスの森						
河川	川棚川、本郷川、奥畑川、犬鳴川、吉永川、黒井川、堂道川、厚母川、一の瀬川 など						
上下水道等	下水道：豊浦中部浄化センター（川棚小串処理区） 農業集落排水（白滝処理区） 上水道：川棚浄水場						
主な公共公益施設	豊浦総合支所、豊浦保健センター、川棚公民館、室津公民館、とんがりぼうし豊浦、川棚温泉交流センター、クリーンセンター響、豊浦町斎場 など						
地域資源	産業	塩田地区工業地、宇賀漁港、小串漁港、川棚漁港、涌田漁港、室津漁港					
	観光レクリエーション	リフレッシュパーク豊浦、とんがりぼうし豊浦、国見台森林公園、川棚のクスの森、鳴き砂ビーチうしろはま、川棚温泉、大河内温泉、下関GC など					
	歴史文化	福德稻荷神社、岩谷十三仏、小野小町の墓、虚無僧墓、安養寺の大仏、川棚温泉交流センター（烏山民俗資料館） など					

2) 人口の推移

・地域人口は減少傾向にあり、高齢化率は市全域と比較して高く、高齢化が急速に進んでいる。

■ 地域人口の推移



▲川棚の風景



▲塩田地区工業地



▲J R小串駅



▲舟郡ダム(青龍湖)



▲室津下漁港



▲J R黒井村駅



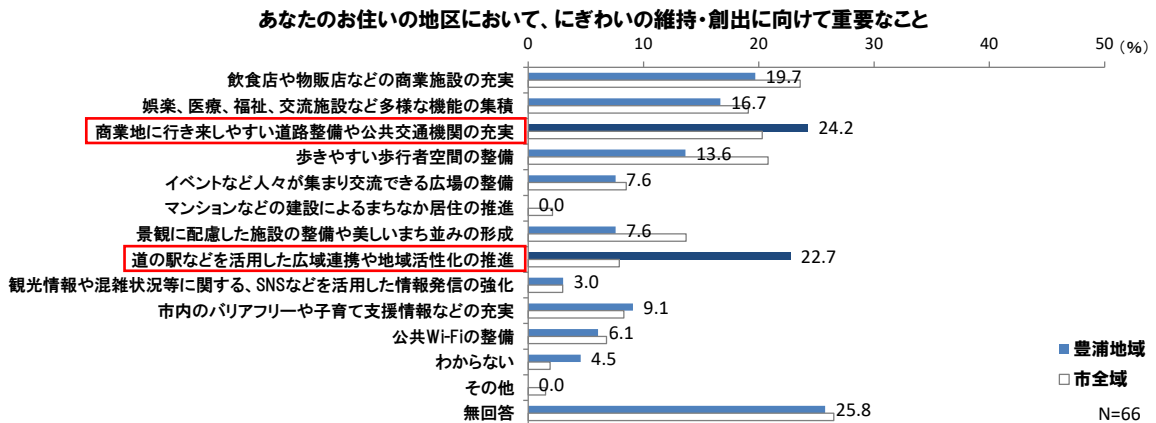
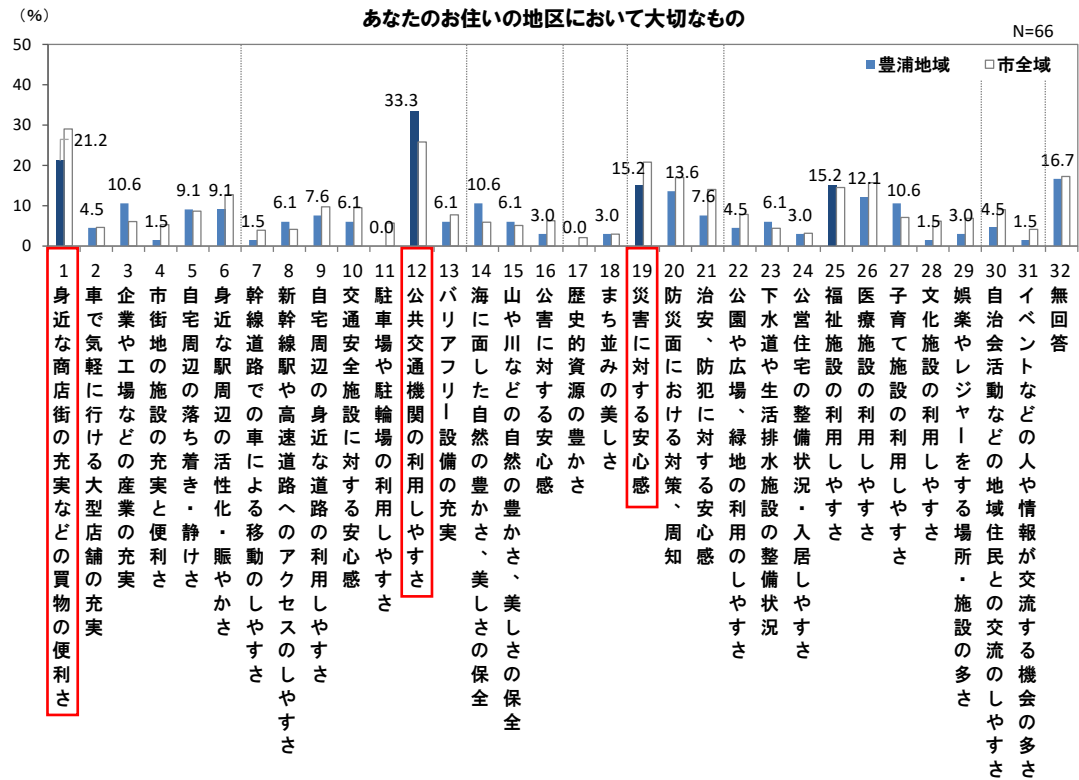
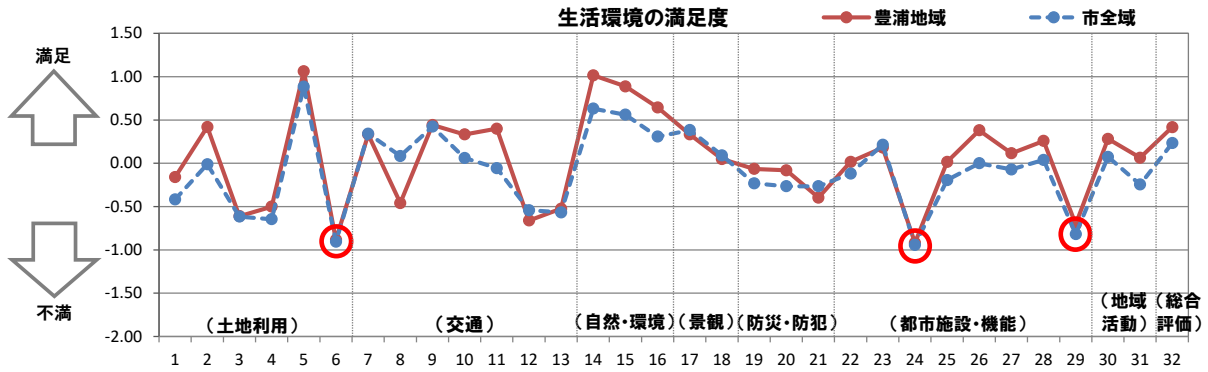
▲大河内温泉



▲小串漁港小島神社

3) 住民意向

- 生活環境の満足度は、「駐車場・駐輪場の利用のしやすさ」、「自然・環境」、「医療施設」などが他地域に比べて高い。「駅周辺の活性化・賑やかさ」、「娯楽・レジャーの多さ」への満足度が低い。
- 居住地区で大切なものは、「公共交通機関」の便利さや「買物」・「福祉施設」の便利さ、「災害に対する安心感」。
- 賑わい創出に向けては、特に「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が他地域に比べて重視されている。



資料：下関市市民アンケート（令和元年12月）

(2) 地域づくりの課題

項目	現況	住民意向	主要課題	
人口	<ul style="list-style-type: none"> 人口は市全域に比べ、減少が進み、高齢化率は市全域より高く、高齢化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公営住宅の整備状況・入居しやすさ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少、高齢化の進行と居住の整備 	
土地利用・市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> J R川棚温泉駅～川棚温泉周辺は地域拠点（田園住宅型）に位置付けられている。 川棚温泉周辺は、古くからの市街地が形成されている。 用途地域外での住宅開発等が盛んに行われ、低密度の市街地が拡大している。 J R小串駅からJ R川棚温泉駅、川棚温泉街にかけての市街地と、J R黒井村駅周辺から室津下漁港にかけての市街地は用途地域に指定されている。 宅地や農地の背後には自然豊かな山地が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「身近な駅周辺の活性化・賑やかさ」に対する満足度が低い。 居住地区では「身近な商店街の充実などの買物の便利さ」が大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティに資する地域拠点機能 ●各地区特性に対応した土地利用 ●周辺環境の調和と生活利便性の確保 ●営農環境や自然環境の保全 	
都市施設整備 (交通体系整備)	<ul style="list-style-type: none"> 国道 191 号、豊浦地域と菊川地域を結ぶ（一）豊浦久野線などの主要幹線道路が通過する。 山陰本線 J R梅ヶ峠駅・黒井村駅・川棚温泉駅・小串駅・湯玉駅・宇賀本郷駅があり、また、路線バスが運行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 賑わいの維持・創出に向けて「商業地に行き来しやすい道路整備や公共交通の充実」「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が重要視されている。 「公共交通機関の利用のしやすさ」は市全域に比べ満足度が低く、居住地区では他地域に比べ、大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域交流の活性化に資する広域連携と幹線道路の整備 ●地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築 ●幹線道路における歩行者の安全性 	
都市防災・その他施設整備	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害のリスクは、山裾の幹線道路沿いに分布している。 浸水のリスクは、川棚川沿いなどの低平地に分布している。 	<ul style="list-style-type: none"> 居住地区では「災害に対する安心感」大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に強い道路整備と緊急物資輸送路の確保 ●水災害リスクへの対応
	その他施設整備	<ul style="list-style-type: none"> リフレッシュパーク豊浦、拠点的な公園が立地している。 公共下水道、農業集落排水事業による生活排水処理が行われている。 川棚川、黒井川、本郷川などの河川や川棚浄水場がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」に対する満足度が低い。 賑わいの維持・創出に向けて、「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●川棚温泉などの多様な地域資源を活かした交流の活性化 ●都市施設等の保全と維持管理
環境保全・環境形成・景観形成	<ul style="list-style-type: none"> 美しい海浜や市街地背後の森林、温泉など良好な地域資源を有し、特色ある景観を形成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然・環境に対する満足度は市全域より満足度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●温泉地景観や幹線道路沿い景観 ●田園・集落景観や自然景観の保全と調和 	

～主要課題から見た地域づくりの方向性～

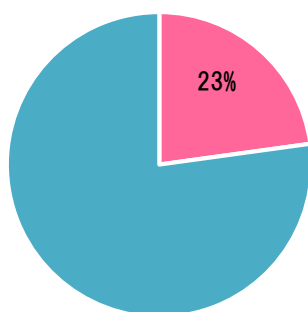
- 川棚温泉などの地域資源を活かした交流の推進
- 自然環境、営農環境と調和した土地利用の誘導
- 公共交通などの日常生活の利便性確保や河川などの防災対策の充実



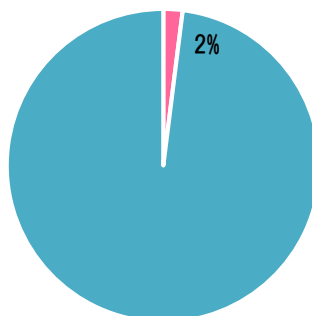
(1) 地域の現況と課題

1) 地域の概要

市域に対する地域面積の割合



市域に対する地域人口の割合



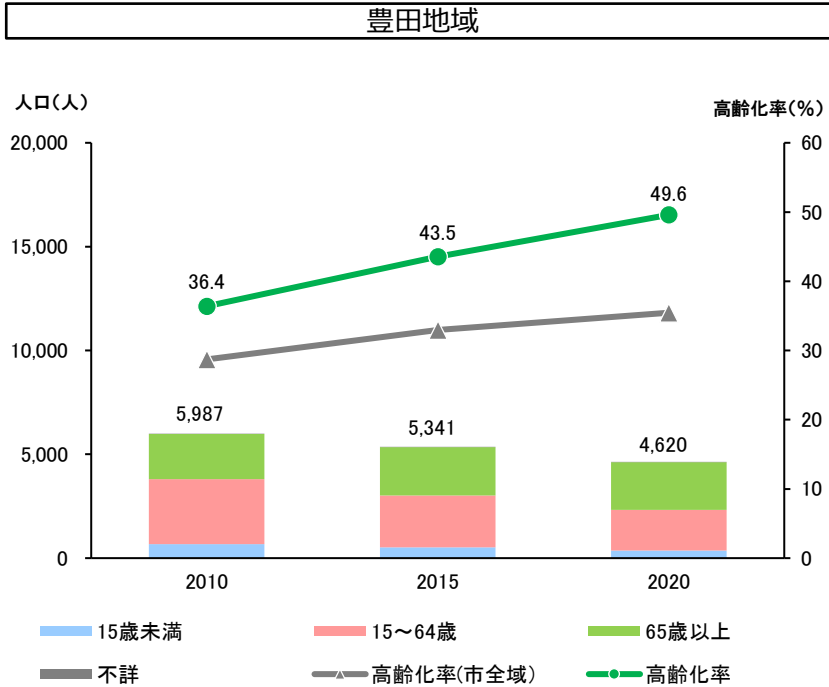
位置図

■地域の概要

面積	16,341ha	人口(R2)	4,620人	人口密度(R2)	0.28人/ha	世帯数(R2)	1,959世帯
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ●北東部に^{どうがだけ}堂ヶ岳、南西部に菊川や豊北と一体となった緑豊かな山々が連なり、豊田湖周辺や狗留孫山、華山周辺は豊田県立自然公園に指定されている。 ●地域のほぼ中心部にまとまった市街地が形成され、河川沿いの農地に沿って農村集落が点在している。 						
主な幹線道路	国道435号、国道491号、(主)下関長門線、(主)美祢油谷線、(主)山陽豊田線、(一)豊浦豊田線、(一)日野吉田線、(一)豊田粟野港線、豊関広域農道(フルーツロード) など						
鉄道・公共交通	路線バス、生活バス						
主な公園緑地	豊田農業公園みのりの丘、豊田湖畔公園、長正司公園、一の俣桜公園 豊田県立自然公園						
河川	木屋川、粟野川、稲見川、日野川、殿敷川、一の俣川、開作川、柰路子川 など						
上下水道等	下水道：豊田浄化センター(豊田処理区) 農業集落排水(大河内処理区) 上水道：木屋川ダム						
主な公共公益施設	豊田総合支所、豊田図書館、西市公民館、豊田下公民館、殿居公民館、三豊公民館、豊田中央病院、豊田保健センター など						
地域資源	産業	繁殖肥育センター、みのりの丘ジビエセンター など					
	観光レクリエーション	道の駅蛸街道西ノ市、豊田ホテルの里ミュージアム、長正司公園(大藤棚)、徳仙の滝、豊田農業公園みのりの丘、ホテル舟乗船場、華山キャンプ場、石柱溪、館ヶ浴の椿、日野温泉、一の俣温泉、山口レインボーヒルズ豊田湖GC など					
	歴史文化	安徳天皇西市御陵墓、浮石義民墓所、修禅寺、神上寺、旧殿居郵便局 など					

2) 人口の推移

- ・ 地域人口は減少傾向にあり、過去 10 年間で約 23%減少している。
- ・ 高齢化率は約 49.6%で、市全域を大きく上回り、高齢化が急速に進んでいる。



▲一の俣桜公園



▲旧殿居郵便局



▲狗留孫山修禅寺



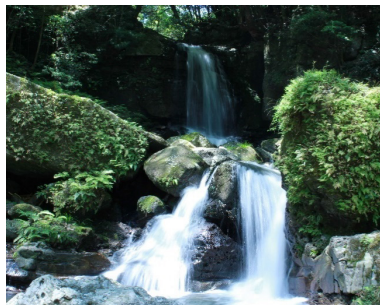
▲木屋川ダム



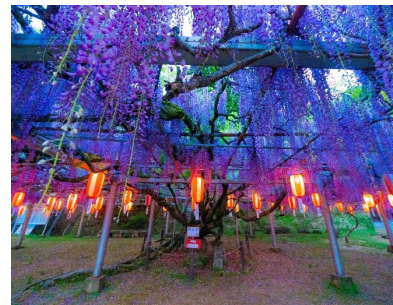
▲国道435号美祢豊田バイパス



▲豊田中央病院



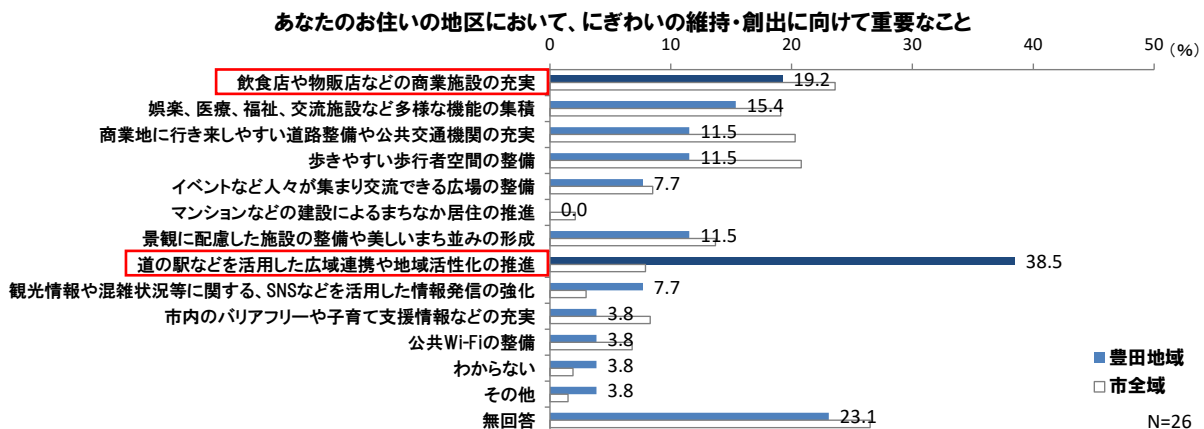
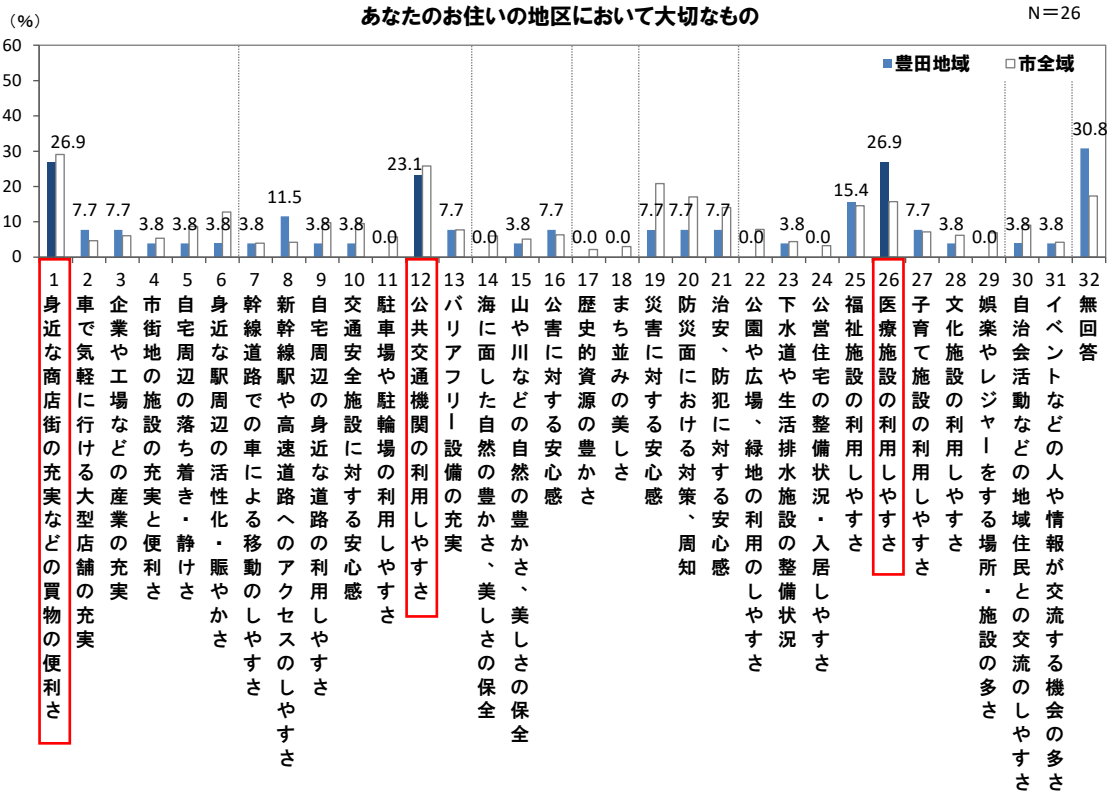
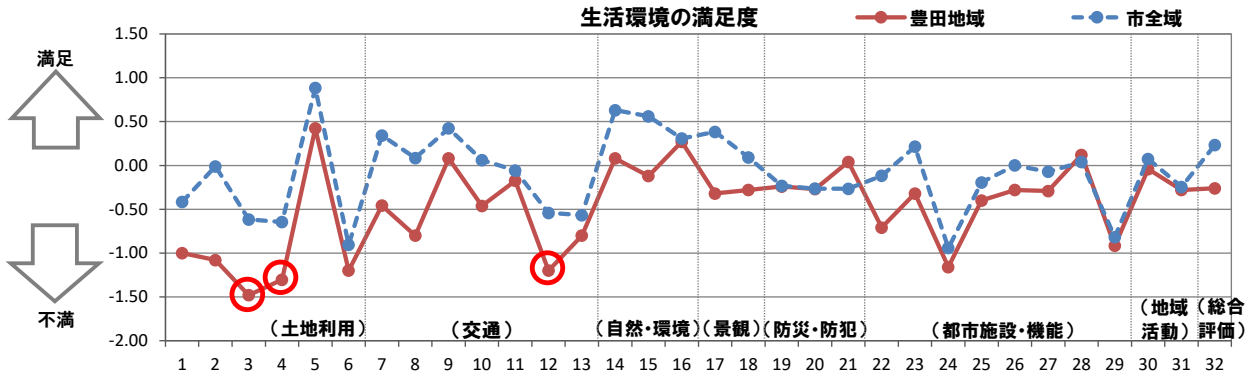
▲石柱溪連理の滝



▲長正司公園 (藤棚)

3) 住民意向

- 生活環境の満足度は、他地域に比べて総じて低い。特に「産業・市街地」などの土地利用、「公共交通」などの交通、自然環境、歴史的資源やまちなみに対する満足度は、他地域に比べて低い。
- 居住地区で大切なものは、「買物」・「医療施設」・「公共交通機関」の良さ。
- 賑わい創出に向けては、特に「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が他地域に比べて重視されており、次いで「商業施設の充実」が多い。



資料：下関市市民アンケート（令和元年 12月）

(2) 地域づくりの課題

項目		現況	住民意向	主要課題
人口		<ul style="list-style-type: none"> 人口は減少傾向にあり、地域の高齢化率も市全域より大幅に高く、地域コミュニティの衰退が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公営住宅の整備状況・入居しやすさ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●急速な人口減少と高齢化の進行
土地利用・市街地整備		<ul style="list-style-type: none"> 豊田総合支所周辺は、地域の一定の都市機能を担う集落拠点に位置付けられている。 地域の中心部に市街地が形成され、河川沿いに農村集落が点在している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「企業や工場などの産業の充実」「市街地の施設の充実と便利さ」に対する満足度が低い。 居住地区では「身近な商店街の充実などの買物の便利さ」が大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティの中心となる集落拠点機能 ●農村集落や農地の保全 ●山地の保全
都市施設整備 (交通体系整備)		<ul style="list-style-type: none"> 山陰道依山・豊田道路の整備促進に向けた取組が進行している。 国道435号、(主)下関長門線などの主要幹線道路が通過する。 路線バスと生活バスが運行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公共交通機関の利用のしやすさ」への満足度が低く、居住地区では他の項目と比べて大切なものとされている。 賑わいの維持・創出に向けて、「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●長門方面、山陽方面との広域交流を促進する広域連携 ●地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築
都市防災・その他施設整備	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> 浸水のリスクは、木屋川沿いから中心部の市街地に広く分布している。 土砂災害のリスクは、西市小学校周辺の山地や山間部に分布している。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●木屋川水系の総合的な治水対策 ●災害に強い道路整備と緊急物資輸送路の確保
	その他施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 総合支所周辺の市街地では、特定環境保全公共下水道が整備され、集落地では集落排水事業による排水処理が行われている。 道の駅、豊田ホテルの里ミュージアム、長正司公園、豊田農業公園などの観光レクリエーション施設が立地している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「医療施設の利用のしやすさが」大切なものとされている。 賑わいの維持・創出に向けて、「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテルなどの多様な地域地源を活かした交流の活性化 ●都市施設等の保全と維持管理
環境保全・環境形成・景観形成		<ul style="list-style-type: none"> 清らかな河川が多く、ホテルの生息地が数多く点在している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然・環境、景観に対する満足度は市全域に比べ満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテルが生息する河川環境の保全と河川景観の活用 ●山地や集落周辺の身近な里山の保全管理 ●田園・集落景観や自然景観の保全と調和

～主要課題から見た地域づくりの方向性～

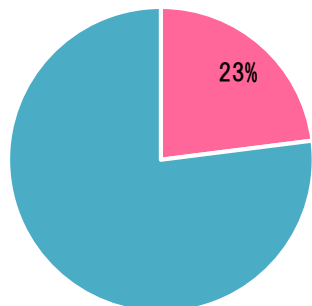
- ホテルなどの地域資源を活かした地域の魅力づくり
- 豊かな自然環境と共生する住環境の維持
- 公共交通などの日常生活の利便性確保や河川などの防災対策の充実



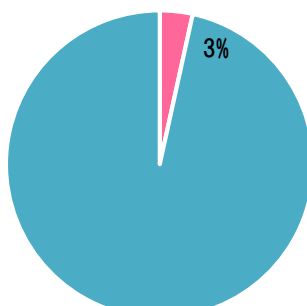
(1) 地域の現況と課題

1) 地域の概要

市域に対する地域面積の割合



市域に対する地域人口の割合



■ 豊北地域



位置図

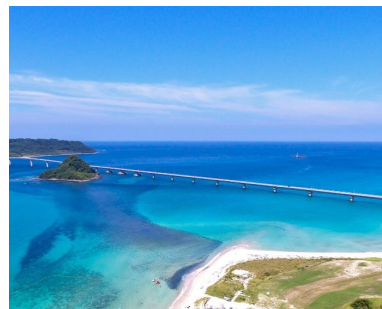
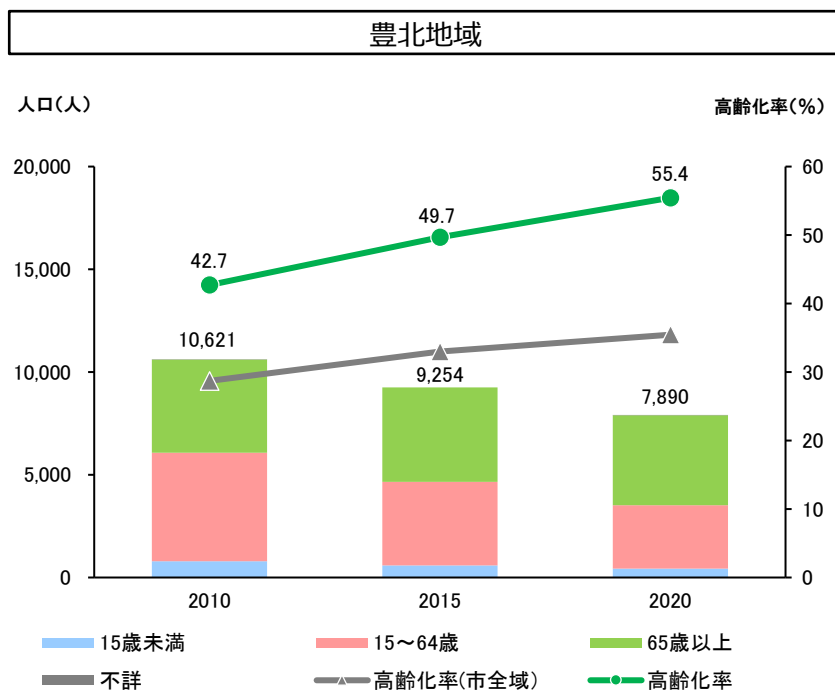
■ 地域の概要

面積	16,857ha	人口(R2)	7,890人	人口密度(R2)	0.47人/ha	世帯数(R2)	3,580世帯
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の東部は緑豊かな山地が広がり、沿岸部は北長門海岸国定公園に代表される美しい海岸線が形成されている。地域のほぼ中央に位置する総合支所周辺に、まとまった市街地が形成され、その背後に農地・山林が広がる。 ● 沿岸部の漁港周辺には漁村集落が点在している。 						
主な幹線道路	国道 191 号、国道 435 号、(主)粟野二見線、(一)角島神田線、(一)島戸港線、(一)田耕湯玉停車場線、(一)豊田粟野港線、豊関広域農道 など						
鉄道・公共交通	J R山陰本線(長門二見駅、滝部駅、特牛駅、阿川駅、長門粟野駅) 路線バス、生活バス						
主な公園緑地	豊北総合運動公園、角島灯台公園、阿川ほうせんぐり海浜公園、粟野川小河内河川公園、村田家記念公園、滝部のシダレザクラ 北長門海岸国定公園、豊田県立自然公園						
河川	粟野川、蓋の井川、神出川、沖田川、荒田川、矢玉川、直子川、大田川、大田谷川 など						
上下水道等	下水道：豊北滝部浄化センター(滝部処理区) 農業集落排水(角島尾山処理区)						
主な公共公益施設	豊北総合支所、滝部公民館(太陽館)、田耕公民館、神玉公民館、粟野公民館、阿川公民館、角島公民館、島戸診療所、角島診療所、豊北体育センター、豊北保健センター、道の駅「北浦街道豊北」、土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム、太翔館(豊北歴史民俗資料館)、豊北斎場 など						
地域資源	産業	特牛市場、矢玉漁港、二見漁港、和久漁港、肥中漁港、阿川漁港、島戸漁港、角島漁港					
	観光レクリエーション	しおかぜの里角島、つの上しま自然館、二見夫婦岩、コバルトブルービーチ、土井ヶ浜海水浴場、島戸海水浴場、大浦岳森林公園、角島灯台公園 など					
	歴史文化	大翔館(豊北歴史民俗資料館)、土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム、田上菊舎の碑、毛利館跡、毛利秀包の墓所、烈婦登波の碑、阿川毛利氏墓所、中山神社、附野薬師東山寺、恩徳寺 など					

2) 人口の推移

- ・ 地域人口は減少傾向にあり、過去 10 年間で約 26%減少している。
- ・ 高齢化率は約 55.4%で、市全域の中で最も高く、高齢化が急速に進んでいる。

■ 地域人口の推移



▲ 角島大橋



▲ 滝部市街地



▲ 豊北図書室 (豊北中学校)



▲ 特牛港 (特牛市場)



▲ 栗野川



▲ 豊北総合運動公園



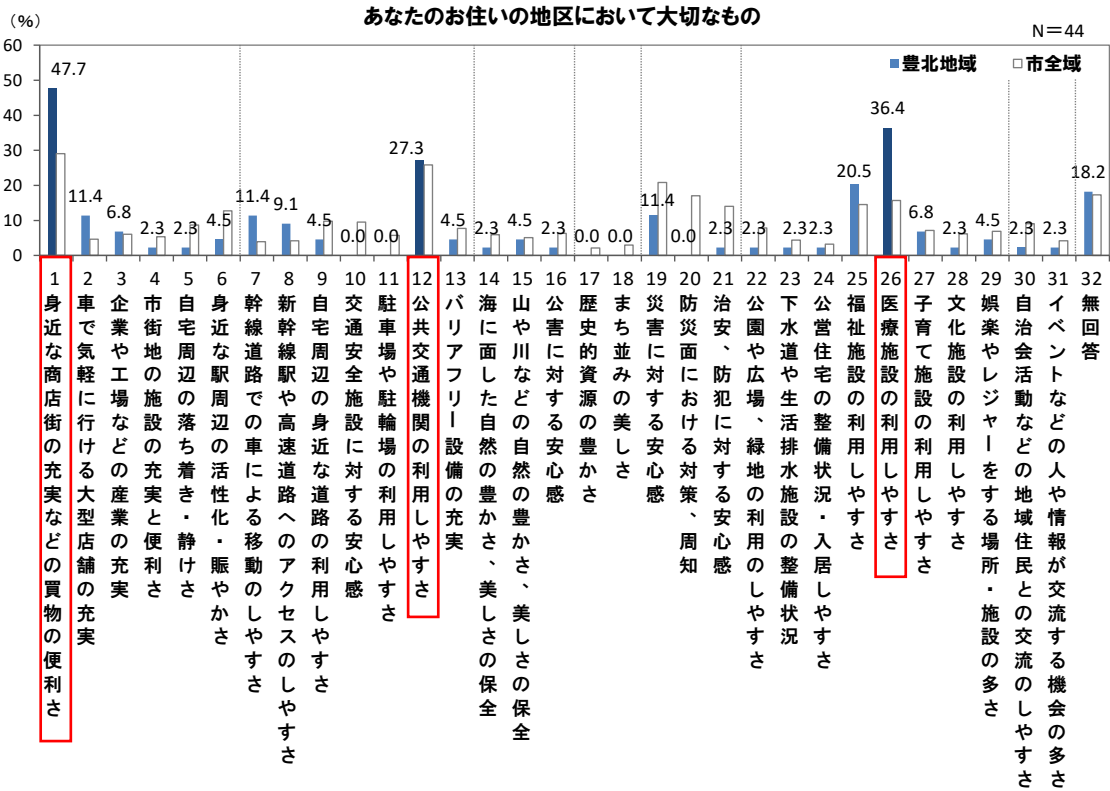
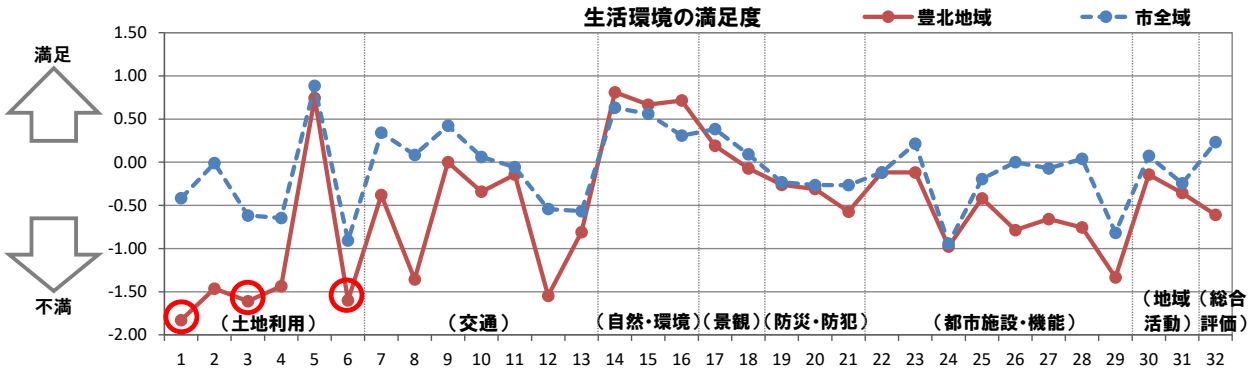
▲ J R 特牛駅



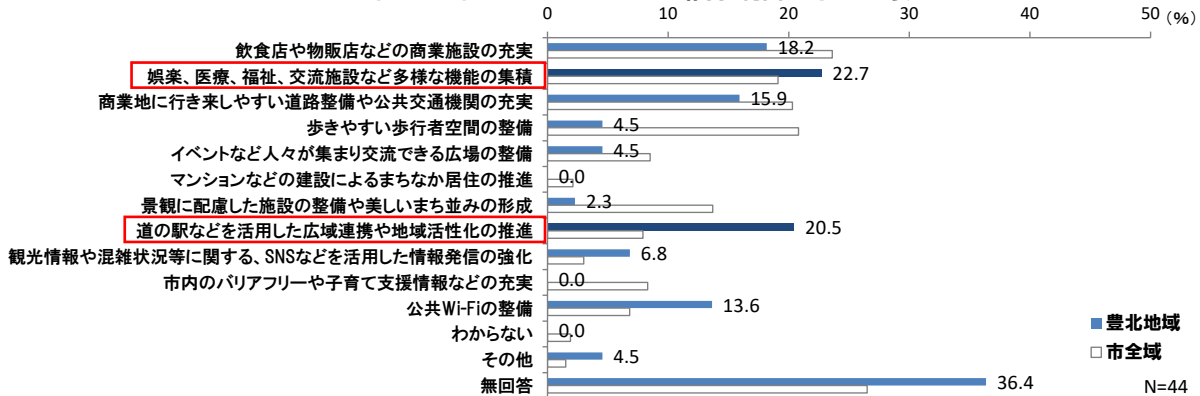
▲ 国道 191 号(二見夫婦岩周辺)

3) 住民意向

- 生活環境の満足度は、他地域に比べて総じて低い。特に、「買物」、「産業」などの土地利用、「医療施設」などの都市施設・機能、「新幹線駅や高速道路へのアクセス」や「公共交通機関」などの交通分野で低い。
- 居住地区で大切なものは、「買い物」、「公共交通機関」、「医療施設」の便利さ。
- 賑わい創出に向けては、「多様な機能の集積」とともに、特に「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が他地域に比べて重視されている。



あなたのお住いの地区において、にぎわいの維持・創出に向けて重要なこと



資料：下関市市民アンケート（令和元年12月）

(2) 地域づくりの課題

項目		現況	住民意向	主要課題
人口		<ul style="list-style-type: none"> 人口減少、高齢化が急速に進行し、地域コミュニティの衰退が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公営住宅の整備状況、入居しやすさ」に対する満足度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●急速な人口減少と高齢化の進行
土地利用・市街地整備		<ul style="list-style-type: none"> 豊北総合支所周辺は集落拠点に位置付けられている。 海岸沿いには漁村集落が点在する。 緑豊かな山地や日本海にかけての美しい景観を有する海岸線を有し、豊かな自然環境に恵まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「身近な商店街の充実など買物の便利さ」「身近な駅周辺の活性化・賑やかさ」に対する満足度が低い。 居住地区では「買物の便利さ」や「医療施設の利用しやすさ」が大切なものとされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティに資する地域拠点機能 ●営農環境や自然環境の保全
都市施設整備 (交通体系整備)		<ul style="list-style-type: none"> 国道 191 号、435 号、(主)粟野二見線、(主)豊浦菊川線などの主要幹線道路が通過する。 角島大橋や周辺道路は観光目的の利用者が多い。 山陰本線 J R 長門二見駅・滝部駅・特牛駅・阿川駅・長門粟野駅があり、また、路線バスと生活バスが運行している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「公共交通機関の利用のしやすさ」への満足度が低く、かつ居住地区では大切なものとされている。 賑わいの維持・創出に向けて「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域交流の活性化に資する広域連携と幹線道路の整備 ●地域の実情に見合った持続可能な交通体系の構築
都市防災・その他施設整備	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> 浸水のリスクは、粟野川沿いの低平地に広く分布している。 土砂災害のリスクは、山間部の(主)粟野二見線沿いに分布している。 高潮のリスクは、J R 長門粟野駅周辺に分布している。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ●主要河川の防災 ●災害に強い道路整備と緊急物資輸送路の確保
	その他施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 豊北総合運動公園、粟野川小内河川公園、阿川ほうせんぐり海浜公園などの公園が点在している。 総合支所周辺は公共下水道が整備され、集落地では集落排水事業による生活排水処理が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「福祉施設の利用のしやすさ」が大切なものとされている。 賑わいの維持・創出に向けて「娯楽、医療、福祉、交流施設などの集積」や「道の駅などを活用した広域連携や地域活性化の推進」が重要視されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●角島などの多様な地域資源を活かした交流の活性化 ●都市施設等の保全と維持管理
環境保全・環境形成・景観形成		<ul style="list-style-type: none"> 角島をはじめ西部沿岸域は北長門海岸国定公園に、南部の山地は豊田県立自然公園に指定されている。 角島大浜海水浴場をはじめ数多くの海水浴場が点在する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自宅周辺の落ち着き、静けさ」や「山や川など自然の豊かさ、美しさの保全」、「歴史的資源の豊かさ」への満足度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●田園・集落景観や自然景観の保全と調和 ●美しい海岸線の景観の保全と活用

～主要課題から見た地域づくりの方向性～

- 角島などの地域資源を活かした地域の魅力づくり
- 豊かな自然環境と共生する住環境の維持
- 公共交通などの日常生活の利便性確保や河川などの防災対策の充実

参考資料 6 用語解説

あ行

【(一)】

一般県道。

▶ P80,P84,P86,
P88,P92 他

【インバウンド】

訪日外国人旅行者または訪日旅行のことを指す。

▶ P33

【ウォークブル】

居心地のよい、人中心の空間をつくり、まちに出かけたくなる、歩きたくなるまちの様子。世界中の多くの都市で、街路空間を車中心から“人間中心”の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使って、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられる場へとしていく取り組みが進められており、国土交通省では街路空間の再構築・利活用に関する様々な取り組みを推進している。

▶ P22,P57

【ウォーターフロント】

本都市計画マスタープランでは、海峡沿いの水辺空間において、商業施設や文化施設等の複合的な開発が行われ、人が集まり交流できる場所のこと。

▶ P33,P37,P45,
P59,P67 他

【沿道サービス施設】

主に車による集客を対象とした広い駐車場を有する商業・業務施設で、交通量の多い幹線道路沿道に多く立地する。

▶ P53,P92,P93

【オープンスペース】

公園などの公共施設において、建物等によって覆われていない土地の総称。

▶ P22,P50,P54,
P58,P62 他

か行

【カーボンニュートラル】

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

▶ P66

【開発行為】

主として建築物の建築又は特定工作物の建設の用に供する目的で行う土地の区画形質の変更のこと。

▶ P57

【関門自動車道】

高速自動車国道。起点は下関インターチェンジ、終点は門司インターチェンジで、関門橋を含む。

▶ P74,P81

【キスアンドライド】

自宅から最寄りの駅又はバス停まで自動車等で家族に送り迎えをしてもらい、電車やバス等の公共交通機関を利用して目的地に向かう通勤・通学形態などのこと。

▶ P80,P81,P84,
P85,P92 他

【既存ストック】

既に整備された道路や橋、公共建造物などの公共施設のこと。財政が逼迫する今日においては、既存ストックの活用による公共投資の削減が必要とされている。

▶P32,P37,P46,
P62,P65 他

【急傾斜地崩壊危険区域】

がけの斜面角度が 30 度以上でかつ高さが 5 メートル以上のがけ地のうち、崩壊のおそれがあるとして急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づき、都道府県知事が指定する土地。

▶P23,72

【きょうあい狭隘道路】

幅員 4 m 未満の道路で、一般の交通の用に供される道路を指す。

▶P38,P52,P57,
P65

【協働】

パートナーシップの関係を前提として、課題や目的を共有しながら、より良いものを創り上げていく具体的な「行為や行動」のこと。

▶P58,P62,P64,
P66,P69 他

【居住誘導区域】

人口減少の中にあっても、一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるように居住を誘導する区域。

▶P3,P43,P48,
P51,P53 他

【グリーンスローモビリティ】

時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。

▶P58

【建築協定】

建築基準法に基づいて、関係権利者が合意のもとで建築物の敷地・構造・用途・形態・意匠等について定める協定のこと。

▶P35,P37

【公共交通（機関）】

電車、バス、地下鉄などの不特定多数の人々が利用できる交通機関のこと。

▶P3,P4,P30,
P31,P32 他

【高次都市機能】

市民の日常生活を支える居住機能、商業機能、工業機能、公共公益機能などの都市機能に加え、広範囲な地域を対象とした質の高い都市サービスを提供する多機能型の都市機能のこと。

▶P33,P45,P48,
P53,P74 他

【交通結節機能】

複数の交通機関が結節する場所において、その乗換や移動を円滑に行う機能のこと。

▶P34,P80,P81,
P84,P85 他

【高度利用】

容積率（階数）の高い建物による効率的な土地利用。高度利用によって、細分化した敷地を一定敷地規模以上にすることや、有効空地や道路などの公共施設用地を確保することにより、良好な市街地を形成する。

▶P33,P37,P53,
P65,P82 他

【サイクルアンドライド】

自宅から最寄りの駅又はバス停まで自転車で行き、電車やバスなどの公共交通機関を利用して目的地に向かう通勤・通学形態などのこと。

▶P80,P81,P84,
P85,P92 他

【サテライトオフィス】

企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。

▶P65

【山陰道】

高規格道路。現在、依山・豊田道路の整備が進められている。その先は構想段階の豊田～下関間である。

▶P34,P37,P45,
P58,P104 他

【山陽自動車道】

高速自動車国道。宇部下関線が下関ジャンクションで中国縦貫自動車道に接続している。

▶P49,P144

【シームレス】

「継ぎ目のない」という意味で、転じて複数のサービス間のバリアをとり除き、容易に複数のサービスを利用することができることを指す。交通のシームレス化とは、複数の交通手段の接続性を改良することをいう。

▶P34,P59

【市街化区域】

都市計画法に基づく都市計画区域のうち、既に市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図る区域のこと。

▶P4,P9,P10,
P15,P16 他

【市街化調整区域】

都市計画法に基づく都市計画区域のうち、開発行為は原則禁止として、市街化を抑制すべき区域。

▶P4,P15,P16,
P17,P49 他

【市街地再開発事業】

土地利用上又は防災上の問題を抱えた市街地において、土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、敷地の統合、建築物の不燃化・高度化・共同化、街路、公園などの公共施設やオープンスペースなどの確保により、快適で安全な都市環境を再生する事業で、調査設計計画費、土地整備費、共同施設整備費の一部に補助金が受けられる。

▶P65,P71,P82,
P98,P130 他

【市街地整備】

良好な市街地環境を創出することを目的として、市街地の基盤施設や環境を整備することを総称していう。一般に道路、公園などの基盤施設の整備や土地区画整理事業、市街地再開発事業などの面的な整備をいう。

▶P32,P35,P51,
P59,P65 他

【市街地中心部】

下関地域の市街化区域のうち、商業系地域を中心とする都市機能が集積した地域。

▶P29,P57,P58,
P59,P65

【地すべり防止区域】

地すべりが発生している区域と、その恐れが極めて大きい区域やこれらに隣接する区域のうち、崩壊による被害の除去又は軽減することを目的に、国土交通大臣が地すべり防止法に基づいて指定する区域のこと。

▶P72

【下関北九州道路】

下関市と北九州市の中心部を結ぶ高規格道路。既存道路ネットワークの課題の解消や関門トンネル・関門橋の代替機能の確保、さらには循環型ネットワーク形成による下関・北九州地域の発展に大きく寄与するもの。

▶P34,p37,P45,
P49,P58 他

【下関西道路】

高規格道路。下関北九州道路に接続する路線で、一部を下関北バイパスが構成している。

▶P34,P58,p80,
P81,P84 他

【(主)】

主要地方道。道路法第56条の規定により、国土交通大臣が指定する主要な都道府県道又は市道。高速道路や一般国道と一体となって広域交通を担う幹線道路。

▶P80,P92,P95,
P104,P106 他

【住区基幹公園】

都市住民の安全で快適かつ健康的な生活環境及びレクリエーション、休養のための場として、主として徒歩圏内の住民の日常的な身近な利用に供する都市公園。住区を計画単位として設けられる市街地の基盤的施設となる公園で、その機能から街区公園、近隣公園、地区公園に分類される。

▶P62,P72

【準用河川】

一級河川及び二級河川以外の市長が指定した河川のこと。準用河川は二級河川に関する規定が準用される。

▶P64

【親水空間】

治水機能だけではなく、水辺で遊んだり、河川沿いを散策したりする、水に親しむ機能を持った空間。

▶P67,P95,P99,
P103,P107 他

【スプロール】

市街地から郊外へ向けて無秩序・無計画な市街化が進むこと。

▶P37,P65

【生活利便施設】

官公庁や駅、図書館、郵便局等の公共施設、スーパーマーケットや電器店等の買物施設、銀行やサービス店舗等の事務所施設などの日常生活で頻りに利用する施設のこと。

▶P43,P50,P53

【総合計画】

市の行政運営の最も基礎となる計画であり、まちの将来像とその実現のための施策体系、施策の方向内容などを示すもの。都市計画マスタープランの上位計画に位置づけられる。

▶P2,P3,P40,
P44,P128

【宅地造成工事規制区域】

宅地造成が行われることによって、がけ崩れや土砂流出などの災害が生じる恐れのある区域として工事の規制を市が指定した区域。

▶P72

【脱炭素社会】

人の活動に伴って発生する温室効果ガスの排出量と、吸収作用の保全及び強化により吸収される温室効果ガスの吸収量との間の均衡が保たれた社会をいう。

▶P58,P66

【たんすい湛水】

排水能力の不足などにより、農地等に不要な水がたまってしまうこと。

▶P74,P83,P87,
P99,P103 他

【地域コミュニティ】

地域の住民が地域のための活動を行う集団。基礎的な組織としては、町内会や自治連合会など。

▶P21,P33,P37,
P38,P45 他

【地域地区】

都市計画法第8条の規定により、都市計画として定められる各種の地域、地区、または街区の総称。用途地域、特別用途地区、防火地域、準防火地域、臨港地区、高度利用地区、風致地区、駐車場整備地区などがある。

▶P3,P129,P130

【地区計画】

地区の特性にふさわしい良好な市街地を整備・保全するため、建築物の建築等に関して必要な事項をきめ細かに定めて、街区内の建築行為等を規制・誘導していくために、市町村が都市計画として定める制度。

▶P3,P35,P37,
P63,P65 他

【中国縦貫自動車道】

高速自動車国道。下関市内には下関インターチェンジ、小月インターチェンジ、王司パーキング、下関ジャンクションがある。

▶P49,P93,P105,
P113

【(都)】

都市計画道路。都市計画法第11条の規定により都市施設として都市計画決定された道路。

▶P82,P83,P84,
P86,P87 他

【特別防災区域】

石油コンビナート等の災害発生の危険性のある施設の周辺で、災害の発生や拡大の防止等の総合的な施策の推進を図るべき区域。

▶P72

【都市基幹公園】

1つの市町村内に居住している人々の利用を目的とした公園で、総合公園や運動公園などをいう。

▶P62

【都市機能】

居住機能、商業機能、工業機能、公共公益機能など都市的サービスを提供する諸機能。

▶P3,P4,P11,
P22,P32 他

【都市機能誘導区域】

商業、医療・福祉施設等の日常生活を送る上で必要となる都市機能を都市の中心的な拠点等に誘導・集約することにより、これら各種サービスの効率的な提供を図る区域のこと。

▶P3,P48,P53

【都市基盤】

道路・公園・河川・下水道などに代表され、都市活動（生活や産業活動）を支える基幹的な施設のこと。

▶P42,P43,P45,
P46,P71 他

【都市計画運用指針】

各地方公共団体が適切に都市計画制度を活用することができるように、都市政策を進めていくうえでの考え方について国が示したものの。

▶P41

【都市計画基礎調査】

都市計画法に基づき、都市現況及び将来の見通しを定期的に把握するための調査。収集されたデータを基に調書、位置図、建物利用現況図が作成され、GISにも活用されている。

▶P10,P15,P16,
P17,P29 他

【都市計画区域】

(都市計画区域)

都市計画法第5条の規定により、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を図る必要がある区域として、都道府県が指定する区域のこと。用途地域の指定や都市施設（道路や公園等）の整備等が行われる。建築基準法における集団規定が適用され、基本的に建築物の建築に確認申請が必要となり、交通上、安全上、防火上及び衛生上、一定基準を満たした建築物が建築される。

▶P3,P4,P9,
P10,P15,P16 他

(線引き都市計画区域)

都市が無秩序に拡大するのを防ぐことを目的として、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域の2つのエリアに区分した都市計画区域のこと。市街化区域では市街化を推進し、市街化調整区域では市街化が厳しく制限される。

▶P4,P49,P77

(非線引き都市計画区域)

線引き都市計画区域のような市街化区域と市街化調整区域の区域区分のない都市計画区域。

▶P4,P49,P77,
P152,P156

(準都市計画区域)

都市計画区域外のうち、無秩序な市街化が行われている、又は行われる可能性が高い区域に、適正な土地利用誘導を図ることを目的として、非線引き都市計画区域と同程度の制限を図る区域のこと。

【都市計画区域マスタープラン】

都道府県が都市計画区域ごとに都市計画の目標や主要な都市計画の決定の方針などについて定めるものであり、都市計画決定が行われる。記載される内容は確実性の高いものに限られており、都市計画に関する最上位計画となる。また、市町村が定める都市計画マスタープランは、都市計画区域マスタープランに即したものとする必要があり。

▶P2,P3

【都市計画道路】

都市計画法に基づく都市施設として定められる道路のこと。都市計画法第 11 条の規定により都市施設として都市計画決定された道路。

▶P60,P81,P85,
P93,P94 他

【都市計画法】

都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的として昭和 43 年に制定された法律。都市地域における土地利用と都市整備に関する各種制度の基本となる法律である。

▶P2,P3,P49,
P77

都市計画区域の指定、都市計画マスタープランの策定、市街化区域と市街化調整区域の区分、地域地区の指定、都市施設の計画など、都市計画の内容、その決定手続き、各種の規制などについて定めている。都市計画区域の指定や都市計画の基本的な事柄については都道府県が、その他については市町村が定めることとされている。

【都市構造】

道路、鉄道などの根幹的な都市施設や河川などの大規模な地形・地物を骨格として、都市の機能や土地利用をイメージする空間構成を表現したもの。

▶P1,P22,P33,
P38,P43 他

【都市施設】

都市計画法第 11 条の規定により、都市計画として定められる施設の総称。道路や公園、下水道、駐車場をはじめ、その他市場、ごみ処理場などのまちの中で基幹的、骨格的な機能を持つ公共施設などのこと。

▶P1,P2,P3,
P30,P34 他

なお、本都市計画マスタープランでは、都市計画区域外である豊田地域及び豊北地域の道路などにおいて、厳密には都市計画法で定義される都市施設ではないものの、基幹的、骨格的な機能を持つ公共施設の呼び方として便宜的に使用している。

【土砂災害警戒区域】

土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域。指定された場合は、土砂災害の危険の周知、警戒避難体制の整備等が行われる。

▶P23,P72

また、土砂災害特別警戒区域については、警戒区域のうち土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。指定された場合は、特定開発行為に対する許可制、建築物の構造の規制、建築物の移転の勧告や支援措置等が行われる。

【土地区画整理事業】

都市計画区域内の土地について、土地所有者からの土地提供（減歩）と既存の公共用地を合わせ、道路・公園などの公共施設を総合的に整備・改善するとともに、健全な市街地の形成と宅地の利用増進を図るために行われる土地の区画形質の変更と公共施設の新設または変更に関する事業のこと。

▶P65,P71,P82,
P86,P90 他

な行

【日本遺産】

有形や無形の様々な文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、地域の活性化を図ることを目的とした、わが国の文化・伝統を語るストーリーとして、文化庁が認定したもの。

▶P67,P83

【農業生産基盤整備】

農業の生産性を高め、農業経営の安定を図るために行われる、ほ場整備事業、農道整備事業、かんがい排水事業などの基盤整備のこと。

▶P54

は行

【パークPFI】

飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度。

▶P62,P130

【バスロケーションシステム】

バスの位置情報をGPS車載器でリアルタイムに把握することにより、バスの現在位置・運行状況・遅れ状況等の情報提供を行うシステムのことをいう。

▶P59

【パブリックコメント】

行政が政策や計画などを立案するにあたり、住民意見を募集し、意見を汲み取って政策決定に反映させる制度のことを指す。

▶P3,P5,P133,
P134,P139

【バリアフリー】

障害者、高齢者、妊婦や子ども連れの人などが社会生活をしていく上での、物理的な障壁や社会的、制度的、心理的なすべての障壁に対処するという考え方。

▶P1,P30,P34,
P57,P59 他

【普通河川】

一級河川、二級河川、準用河川のいずれでもなく、河川法の適用・準用を受けていない河川のこと。

▶P64

【ポケットパーク】

道路わきや空き地などのわずかの土地を利用し、地区住民の身近な憩いの場所となる小さな公園又は休憩所のこと。

▶P96,P97

ま行

【マルチモーダル】

航空、海運、水運、鉄道などの複数の交通機関及びその連携。

▶P80,P81,P84,
P85,P88 他

【道の駅】

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、道の駅をきっかけに活力ある地域づくりを行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ休憩施設のこと。

▶P58,P69,P75,
P112,P113 他

【モーダルシフト】

トラックなどによる環境負荷の大きい輸送手段を船舶や鉄道による環境負荷の小さい輸送手段に転換すること。

▶P58,P59

【モビリティ】

移動性、流動性、可動性、動きやすさ等を意味する単語であり、モビリティ・マネジメントという地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（賢く）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組などで使用される。

▶P58,P60

や行

【優良建築物等整備事業】

市街地の環境改善、良好な市街地住宅の供給等の促進を図るための国の制度要綱に基づく事業で、土地の共同化などによって共同住宅等を建設する場合に、土地整備費、共同施設整備費等の一部に補助金が受けられる。

▶P82

【用途白地地域】

本マスタープランにおいては、非線引き都市計画区域（現在の下関北都市計画区域）内において、用途地域の指定が行われていない区域を指している。

▶P55,P118

【用途地域】

都市計画法上の地域地区のうち最も基本的な地域であり、住宅地の望ましい環境づくりや、商工業に適した地域づくりなど、それぞれの地域にふさわしい発展を促すために定められる。地域区分には大きく分けて「住居系」「商業系」「工業系」の3つがあり、そのなかでさらに細かく分けられ全部で13種類ある。各区分によって、建てられるものと建てられないもの、その用途や規模、形態などが規定される。

▶P4,P15,P16,
P17,P18 他

ら行

【立地適正化計画】

都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導により、行政、住民、民間事業者が一体となって“集約型都市構造”に向けた取組みを推進する計画。

▶P3,P43,P48,
P53,P65 他

英数

【SDGs】

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される。

▶P36

【RORO船】

ROLL ON ROLL OFFの略。貨物を積んだトラックやシャーシ(荷台)ごと輸送する船舶のことを指す。

▶P34

【PPP】

Public Private Partnershipの略。公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームのこと。

▶P36,P37,P129

【PFI】

Private Finance Initiativeの略。公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。

▶P36,P37,P62,
P80,P129 他

【IoT】

Internet of Thingsの略。様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

▶P54

【BRT】

Bus Rapid Transitの略。連節バス、PTPS(公共車両優先システム)、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムのこと。

▶P59

【MaaS】

Mobility as a Serviceの略。地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

▶P59

【10年確率】

過去の降雨量の観測データから統計的に推定し、10年に1回程度発生する規模の降雨。10年のうち、どの年も10%の確率でその降雨量が発生する可能性がある。

▶P27

下関市都市計画マスタープラン

令和4年(2022年)3月 策定

発行 下関市

編集 都市整備部 都市計画課

〒750-8521 下関市南部町1番1号

TEL : (083)231-1932 FAX : (083)231-4799

ホームページ <https://www.city.shimonoseki.lg.jp/>



